第6章 様式・資料

1. 各都道府県窓口

北海道	環境生活部環境局地球 温暖化対策室	011-204-5189	滋賀県	琵琶湖環境部環境政策 課	077-528-3357
青森県	環境生活部環境政策課	017-734-9249	京都府	環境部環境管理課	075-414-4713
岩手県	環境生活部環境保全課	019-629-5356	大阪府	環境農林水産部循環型 社会推進室産業廃棄物 指導課	06-6210-9570
宮城県	環境生活部環境政策課	022-211-2661	兵庫県	農政環境部環境管理局 水大気課	078-362-3285
秋田県	生活環境部環境管理課	018-860-1603	奈良県	くらし創造部景観・環境 局環境政策課	0742-27-8732
山形県	環境エネルギー部水大 気環境課	023-630-2338	和歌山県	環境生活部環境政策局 環境管理課	073-441-2688
福島県	生活環境部水·大気環 境課	024-521-7261	鳥取県	生活環境部循環型社会 推進課	0857-26-7198
茨城県	生活環境部環境対策課	029-301-2961	島根県	環境生活部環境政策課	0852-22-6555
栃木県	環境森林部環境保全課	028-623-3188	岡山県	環境文化部環境企画課	086-226-7299
群馬県	環境森林部環境保全課	027-226-2832	広島県	環境県民局環境保全課	082-513-2917
埼玉県	環境部大気環境課	048-830-3058	山口県	環境生活部環境政策課	083-933-3034
千葉県	環境生活部廃棄物指導 課	043-223-4658	徳島県	県民環境部環境指導課	088-621-2267
東京都	環境局環境改善部環境 保安課	03-5388-3471	香川県	環境森林部環境管理課	087-832-3219
神奈川県	環境農政局環境部大気 水質課	045-210-4111	愛媛県	県民環境部環境局環境 政策課	089-912-2347
新潟県	県民生活·環境部環境 企画課	025-280-5150	高知県	林業振興·環境部環境 対策課	088-821-4524
富山県	生活環境文化部環境政 策課	076-444-8727	福岡県	環境部環境保全課	092-643-3360
石川県	環境部環境政策課	076-225-1463	佐賀県	くらし環境本部環境課	0952-25-7774
福井県	安全環境部環境政策課	0776-20-0303	長崎県	環境部未来環境推進課	095-895-2512
山梨県	森林環境部森林環境総 務課	055-223-1657	熊本県	環境生活部環境局廃棄 物対策課	096-333-2278
長野県	環境部資源循環推進課	026-235-7164	大分県	生活環境部地球環境対 策課	097-506-3036
岐阜県	環境生活部環境管理課	058-272-8232	宮崎県	環境森林部環境管理課	0985-26-7085
静岡県	くらし・環境部環境局環 境政策課	054-221-3781	鹿児島県	環境林務部廃棄物・リサ イクル対策課	099-286-2594
愛知県	環境部大気環境課	052-954-6215	沖縄県	環境部環境保全課	098-866-2236
三重県	環境生活部地球温暖化 対策課	059-224-2368			

2. フロン類の種類

(1)フロン類

フロン排出抑制法の対象とするフロン類は、表 36 のとおり、CFC、HCFC、HFC の3種類であって、オゾン層保護法第2条第1項及び地球温暖化対策推進法第2条第3項第4号に掲げる物質である。

表 38 フロン類の種類

	(一) トリクロロフルオロメタン	(別名CFC—11)
	(二) ジクロロジフルオロメタン	(別名CFC—12)
	(三) トリクロロトリフルオロエタン	(別名CFC—11)
	(四) ジクロロテトラフルオロエタン	(別名CFC—114)
	(五) クロロペンタフルオロエタン	(別名CFC—115)
	(六) クロロトリフルオロメタン	(別名CFC—13)
	(七) ペンタクロロフルオロエタン	(別名CFC—111)
CFC	(八) テトラクロロジフルオロエタン	(別名CFC—112)
	(九) ヘプタクロロフルオロプロパン	(別名CFC—211)
	(十) ヘキサクロロジフルオロプロパン	(別名CFC—212)
	(十一) ペンタクロロトリフルオロプロパン	(別名CFC—213)
	(十二) テトラクロロテトラフルオロプロパン	(別名CFC—214)
	(十三) トリクロロペンタフルオロプロパン	(別名CFC—215)
	(十四) ジクロロヘキサフルオロプロパン	(別名CFC—216)
	(一五) クロロヘプタフルオロプロパン	(別名CFC—217)
	(一) ジクロロフルオロメタン	(別名HCFC—21)
	(二) クロロジフルオロメタン	(別名HCFC—22)
	(三) クロロフルオロメタン	(別名HCFC—31)
	(四) テトラクロロフルオロエタン	(別名HCFC—121)
	(五) トリクロロジフルオロエタン	(別名HCFC—122)
	(六) ジクロロトリフルオロエタン	(別名HCFC—123)
	(七) クロロテトラフルオロエタン	(別名HCFC—124)
	(八) トリクロロフルオロエタン	(別名HCFC—131)
	(九) ジクロロジフルオロエタン	(別名HCFC—132)
	(一〇) クロロトリフルオロエタン	(別名HCFC—133)
	(一一) ジクロロフルオロエタン	(別名HCFC—141
	(一二) クロロジフルオロエタン	(別名HCFC—142)
HCFC	(一三) クロロフルオロエタン	(別名HCFC—151)
TICITO	(一四) ヘキサクロロフルオロプロパン	(別名HCFC—221)
	(一五) ペンタクロロジフルオロプロパン	(別名HCFC—222)
	(一六) テトラクロロトリフルオロプロパン	(別名HCFC—223)
	(一七) トリクロロテトラフルオロプロパン	(別名HCFC—224)
	(一八) ジクロロペンタフルオロプロパン	(別名HCFC—225)
	(一九) クロロヘキサフルオロプロパン	(別名HCFC—226)
	(二〇) ペンタクロロフルオロプロパン	(別名HCFC—231)
	(二一) テトラクロロジフルオロプロパン	(別名HCFC—232)
	(二二) トリクロロトリフルオロプロパン	(別名HCFC—233)
	(二三) ジクロロテトラフルオロプロパン	(別名HCFC—234)
	(二四) クロロペンタフルオロプロパン	(別名HCFC—235)
	(二五) テトラクロロフルオロプロパン	(別名HCFC—241)
	(二六) トリクロロジフルオロプロパン	(別名HCFC—242)

	(二七) ジクロロトリフルオロプロパン	(別名HCFC—243)
	(二八) クロロテトラフルオロプロパン	(別名HCFC—244)
	(二九) トリクロロフルオロプロパン	(別名HCFC—251)
	(三〇) ジクロロジフルオロプロパン	(別名HCFC—252)
	(三一) クロロトリフルオロプロパン	(別名HCFC—253)
	(三二) ジクロロフルオロプロパン	(別名HCFC—261)
	(三三) クロロジフルオロプロパン	(別名HCFC—262)
	(三四) クロロフルオロプロパン	(別名HCFC—271)
	(一) トリフルオロメタン	(別名HFC—23)
	(二) ジフルオロメタン	(別名HFC—32)
	(三) フルオロメタン	(別名HFC—41)
	(四) 一・一・一・二・二一ペンタフルオロエタン	(別名HFC—125)
	(五) 一・一・二・二一テトラフルオロエタン	(別名HFC—134)
	(六) 一・一・一・二一テトラフルオロエタン	(別名HFC—134a)
HFC	(七) 一・一・二―トリフルオロエタン	(別名HFC—143)
	(八) 一・一・一トリフルオロエタン	(別名HFC—143a)
	(九) 一・一一ジフルオロエタン	(別名HFC—152a)
	(十) 一・一・二・三・三・三一へプタフルオロプロパン	(別名HFC—227ea)
	(十一) 一・一・三・三・三一へキサフルオロプロパン	(別名HFC—236fa)
	(十二) ー・一・二・三・一ペンタフルオロプロパン	(別名HFC—245ca)
	(十三) 一・一・一・二・三・四・四・五・五・五一デカフルオロペンタン	(別名HFC—43—10mee)

	ー・ニージフルオロエタン	(別名HFC—152)
	フルオロエタン	(別名HFC—161)
HEC.	一・一・一・二・二・三一へキサフルオロプロパン	(別名HFC—236cb)
HFC ※	一・一・一・二・三・三一へキサフルオロプロパン	(別名HFC—236ea)
	一・一・一・三・三一ペンタフルオロプロパン	(別名HFC—245fa)
	一・一・一・三・三一ペンタフルオロブタン	(別名HFC—365mfc)

※平成27年4月1日施行の地球温暖化対策法施行令改正で追加

(2)フロン類の冷媒番号別の種類とGWP(地球温暖化係数)

ISO(国際標準化機構)の規格 817 に基づくフロン類の冷媒番号別の種類とIPCC(気候変動に関する政府間パネル)の報告に基づくGWP(地球温暖化係数)は以下のとおりである。

なお、表 39 は単一の種類の物質の冷媒、表 40 は複数の種類の物質の混合冷媒である。

表 39

1	R-11(トリクロロフルオロメタン)	4750
2	R-12(ジクロロジフルオロメタン)	10900
3	R-113(トリクロロトリフルオロエタン)	6130
4	R-114(ジクロロテトラフルオロエタン)	10000
5	R-115(クロロペンタフルオロエタン)	7370
6	R-22(クロロジフルオロメタン)	1810
7	R-123(ジクロロトリフルオロエタン)	77
8	R-124(クロロテトラフルオロエタン)	609
9	R-142b(1-クロロー1・1-ジフルオロエタン)	2310
10	R-23(トリフルオロメタン)	14800
11	R-32(ジフルオロメタン)	675
12	R-125(1·1·1·2·2-ペンタフルオロエタン)	3500
13	R-134a(1・1・1・2ーテトラフルオロエタン)	1430
14	R-143a(1・1・1ートリフルオロエタン)	4470
15	R-152a(1・1-ジフルオロエタン)	124
16	$R-227ea(1\cdot1\cdot1\cdot2\cdot3\cdot3\cdot3-$ ヘプタフルオロプロパン)	3220
17	R-236fa(1·1·1·3·3·3-ヘキサフルオロプロパン)	9810
18	R-245fa(1・1・1・3・3ーペンタフルオロプロパン)	1030

表 40

1	R-409A	1580
2	R-409B	1560
3	R-404A	3920
4	R-407A	2110
5	R-407B	2800
6	R-407C	1770
7	R-407D	1630
8	R-407E	1550
9	R-407F	1820
10	R-410A	2090
11	R-410B	2230
12	R-421A	2630
13	R-421B	3190
14	R-423A	2280
15	R-425A	1510
16	R-427A	2140
17	R-442A	1890
18	R-507A	3990
19	R-512A	189
20	R-501	4080
21	R-502	4660
22	R-500	8080
23	R-401A	1180
24	R-401B	1290
25	R-401C	933
26	R-408A	3150
27	R-415A	1510
28	R-415B	546
29	R-420A	1540
30	その他のフロン類	混合冷媒中の表一の
30		中欄に掲げる物質ごと
		に、国際標準化機構の
		規格八一七に基づく当
		該混合冷媒中の当該
		物質の混和の割合に、
		当該物質に係る表一
		の右欄に掲げる係数を
		乗じて得られる値を算
		定し、当該物質ごとに
		算定した値を合計して
		得た値(一未満の端数
		があるときは、その端数
		を四捨五入して得た
		値)
		<u> </u>

3. フロン類回収装置の種類及び能力一覧表

高圧ガス保安法の適用除外を受ける回収装置(自己認定登録製品及び通商産業検査所認定製品)一覧である。ただし、以下の一覧は、2014年11月現在のものであるため、最新は冷媒回収推進・技術センター(RRC)のURL(http://www.rrc-net.jp/archives/61)を参照されたい。

		口	仅できる光	冷媒	口山	て 化力(g/	/min)	通産	
			C C 011	1/2/				省検	
h1 60	機種名「型式」	~			100g	100g		定又	
社 名		CF	HCF	HF	未	以上	200g	は自	備考(回収できるフロン)
		С	С	С	満	200	以上	己認	
						未満		証品	
(株)アイハ	AFC-04	0	0			0		O *	12, 22, 502
ラ	AFC-04II	0	0	0		0		0	12、22、134a、407、410、404、
						_			500, 502
	AFC-04III	0	\circ	0		0		0	12、22、134a、407、410、404、 500、502
アキツ精	IHA-R12	0				0		0	12
機(株)	IHA-R134a			0		0		0	134a
.,,,,,	IHA-R22		0			0		0	22
	IHA-R500	0				0		0	500
	IHA-R502	0				0		0	502
	IHA-R12M	0				0		0	12
	IHA-R134aM			0		0		0	134a
	IHA-R22M		0			0		0	22
	IHA-R205M	0				0		0	502
	IHA-R22B		0				0	0	22
アサダ(株)	4000J	0	0	0		0		O*	12, 22, 134a
	4000J II	0	0	0		0		0	12, 22, 134a, 407, 410
	R50	Ō	0	0		0		0	12, 22, 134a, 407, 410
	R60	0	0	0		0		0	12, 22, 134a, 407, 410
	R60S	0	0	0		0		0	12, 22, 134a, 407, 410
	R120W	0	0	0			0	0	12, 22, 134a, 407, 410
	R11	0	0				0	0	11, 113, 123
	RS13	0		0		0		0	13, 23, 503, 508A
	C50			0		0		0	134a
	C60			0		0		0	134a
	C60S			0		0		0	134a
									12, 22, 114, 124, 134a, 403B,
									404A, 407C, 407D, 410A,
	R100	0	0	0			0	0	412A、413A、417A、422A、
									422D、423A、500、502、507A、
									509A
									12, 22, 114, 124, 134a, 403B,
									404A、407C、407D、410A、
	D250								412A、
	R350	0	0	0					413A、417A、422A、422D、
							0	0	423A、
									500、502、507A、509A
	R1400								12、22、114、124、134a、403B、
									404A、407C、407D、410A、
		0	0	0					412A、
							0	0	413A、417A、422A、422D、
									423A、
									500、502、507A、509A
	RC500	0	0	0					12、22、134a、404A、410A、
	110000						\circ	\circ	412A, 500, 502, 507A

		回収できる冷媒			回収能力(g/min)			通産	
社 名	機種名「型式」	CF C	HCF C	HF C	100g 未 満	100g 以上 200 未満	200g 以上	省定は己証品	備考(回収できるフロン)
									12、22、114、124、134a、403B、
									404A、407C、407D、410A、
	mini	0	\circ	0					412A、
	******				0			0	413A、417A、422A、422D、
									423A、 500、502、507A、509A
									12, 22, 134a, 404A, 410A,
	RC1000	0	0	0			0	0	412A, 500, 502, 507A
	DC0000							·	12、22、134a、404A、410A、
	RC2300	0	0	0			0	0	412A、500、502、507A
									12、22、114、124、134a、403B、
									404A、407C、407D、410A、
	XLT	0	0	0					412A、
						0		0	413A、417A、422A、422D、
									423A,
									500, 502, 507A, 509A
									12, 22, 114, 124, 134a, 403B, 404A, 407C, 407D, 410A,
			_	_					412A,
	TC	0	0	0					413A、417A、422A、422D、
							0	0	423A、
									500, 502, 507A, 509A
									12、22、134a、404A、407C、
	R70	0	0	0		0		0	407D, 410A, 412A, 500, 502,
									507A、509A
			0						12, 22, 114, 124, 134a, 403B,
									404A、407C、407D、410A、
	テトラ	0							412A、 413A、417A、422A、422D、
							\circ	\circ	423A,
									500, 502, 507A, 509A
									12, 22, 500, 502, 114, 509A,
									412A、403B、124、134a、404A、
	V200ECO	0	0	0			0	0	407C, 407D, 410A, 507A,
							0	0	413A、
									417A、422A、422D、423A
インフィコ	EMRT-41	0	0	0		0		0	12、22、134a、407、410
ン (株)エスコ									12、22、134a、404、407、
(水)エハコ	EA100AA	0	0	0		0		0	410, 500, 502
		_	_	_)			12, 22, 134a, 404, 407,
	EA100AB	0	0	0		0		0	410, 500, 502
	EA100CA-22	0	0	0		0		0	12, 22, 134a, 500, 502
	EA100CA-400	0	0	0		0		0	12, 22, 134a, 407, 410
ボッシュオ									
ートモー ティブ	12134B	0				0		0	12、134a
サービス		_				_		_	
ソリューシ	17100	0				0		0	12
ョンズ									
(株) 旧 社名:エス	17350	0				0		O *	12
ピー ピー	11990							^	14
エックスサ	17350C	0				0		<u></u> *	12
			1	1	1		l		

		回山	又できる光	分媒	回収能力(g/min)			通産	
社 名	機種名「型式」	CF C	HCF C	HF C	100g 未 満	100g 以上 200 未満	200g 以上	省 定 は 己 記 品	備考(回収できるフロン)
ービスソリュー									
ションズジ ャパン (株)、ジャ	17400	0				0		<u></u> *	12
テック	17500	0	0			0		0	12, 22, 500, 502
(株))	17500B	0	0			0		O *	12, 22, 500, 502
	17505J	0	0	0		0		O *	12、22、134a、500、502
	17620J	0	0	0		0		O *	12、22、134a、500、502
	17650J	0	0	0		0		0*	12、22、134a、502
	17660B	0	0	0		0		O *	12、22、134a、500、502
	17800B			0			0	0	R134a
	25152	0	0	0		0		O *	12、22、134a、500、502
	25152A	0	0	0		0		O *	12、22、134a、500、502
	25152B	0	0	0					12、22、134a、404、407、
						0		0	410、500、502
	25200A	0	0	0		0		O*	12、22、134a、500、502
	25200B	0	0	0					12、22、134a、404、407、
	202000		0			0		O*	410、500、502
	25177	0	0	0					12、22、134a、404、407、
	20111					0		0	410、500、502
	25177B	0	0	0					12, 22, 134a, 500, 502, 404A,
	201115		0			0		0	407C, 410A, 507A, 509A
	25202B	0	0	0					12、22、134a、404、407、
						0		0	410、500、502
	34400			0		0		<u></u> *	134a
	34700			0		0		<u></u> *	134a
	34700-2K			0		0		0	134a
	34700Z			0		0		0	134a
	34702Z			0		0		0	R134a
	34800-2K	0		0		0		0	12、134a
	342000			0		0		0	R134a
	AC375J			0		0		0	134a
	ACR5J	0		0		0		0*	12、134a
	AC690PRO			0		0		0	134a
	ACR-6012	0				0		O*	12
	ACR-6134			0		0		O*	134a
	ROB246A	0	\circ	\circ					12、22、134a、404A、407C、
						0		0	410A、500、502、507A 12,22,500,502,134a,404A,407C,
	RG3000-J	\circ	\circ	\circ		0		0	
	ACS75IR			0	0	0		0	410A、507A 134a
	ACSTOIR			0	0			0	12,22,500,502,134a,404A,407C,
	ROB760A	0	0	0			0	0	410A、507A
エスペック (株)	SRM-000	0		0	0			0	13、23、503、508A
荏原冷熱	Y-FRU(標準型)	0	0				0	0	11, 113, 123
システム	Y-FRU(業務型)	0	0				0	0	11, 113, 123
(株)	Y-FRUⅡ(業務型)	0	0	0			0	0	11、113、123、245fa
奥田工機	RGC-101	0			0			O *	12
(株)	RGC-102	0			0			O *	12
	RGC-103	0		0	0			O *	12,134a
	FRS-42-1	0		0		0		O *	12、134a、114
	RGC-104	0		0	0			0	12、134a
			-	·					

		回収できる冷媒			回収	(g/	min)	通産	
社 名	機種名「型式」	CF C	HCF C	HF C	100g 未 満	100g 以上 200 未満	200g 以上	省定は己証品	備考(回収できるフロン)
	RGC-105	0		0	0			0	12、134a
	RGC-105M	0		0	0			0	12、134a
(株)岡常	YN-10			0		0		0	134a
歯車製作	YN-12			0		0		0	134a
所	YN-13			0		0		0	134a
1) =	YN-13P			0		0		0	134a
オーム電 機	RHS650A			0	0			O *	134a
*現在は	RHS650B	0			0			O *	12
販売して	RHS650DA			0	0			O *	134a
いません	RHS650DB	0			0			O *	12
	TX-200	0	0	0	0			O*	12、22、134a、502
カルソニック	C-01-RE-A	0			0			 *	12
カンセイ	C-01-RE-B	0			0			O *	12
(株)	NA-21	0	0	0		0		0	12、22、134a、500、502
	NIA 1								12、22、134a、404、407、
	NA-1	0	0	0		0		0	500,502
(株)環境	RC-223	0	0	0		0		<u></u> *	12, 22, 134a, 114, 502
システム	RC-123C	0	0				0	0	11, 113, 123
(株)環境	KS-1001	0	0			0		0	11, 113, 123
総研	KS-1002			0		0		0	245fa
関西化研 工業(株)	エアコンDr. S II			0		0		0	134a
五洋電気	GYR-12A	0				0		<u></u> *	12
	GYR-22A	0	0	0		0		O *	12、22、134a、500、502
	GYR-12S	0	0	0		0		O *	12, 22, 134a, 500, 502
	GYR-22S	0	0	0		0		0	12、22、404A、407C、410A
コーパック	KPK-01A	0	0		0			<u></u> *	12, 22
(タカヤマ	KPK-02B	0	0			0		<u></u> *	12, 22
設備)	KPK-02Y	0	0	0		0			12、22、134a、500、502
12 2 114 7	KPK-02E	0	0	0		0		O*	12, 22, 134a, 500, 502
	KOLPAK-27	0	0	0		0		0	12, 22, 134a, 500, 502
	IRS-9000	0	0	0		0		0	12, 22, 134a, 407, 410
	PROMXRP5000	0	0	0		0		0	12, 22, 134a, 500, 502
	TROMARI 6000))	12, 22, 134a, 500, 502,
	PROMXRP5410	\circ	0	0		0		0	407, 410
三協自工	MRC300	0			0			<u></u>	12
(株)サンケ ン	AR500J	0	0	0	0			0	12、22、134a、407、410
 三洋電機	SRU-400R	0	0			0		O*	12, 22, 500, 502
(株)	SFR-3300	0	0	0		0		O*	12, 22, 134a, 500, 502
(株)山昇	51 10 0000							\frac{1}{2}	12, 22, 1010, 000, 002
冷機製作	SR-1	0	0		0			0	12, 22
(株)シマ	SOT-001	0	0	0			0	0	12, 22, 407C, 410A, 502, 404A
ダ電気設備	SOT-002	0	0	0			0	0	12, 22, 407C, 410A, 502, 404A
スナップ オン・ツー ルズ(株)	ECK2500-N7			0		0		0	134a
正栄電機	CT-1	0	0		0			<u></u> *	12, 22, 502
EG アプラ									
イアンス	1636	0	0		0			<u></u> *	12, 22, 500, 502

		口口	仅できる消	媒	回収	化能力(g/	/min)	通産	
社 名	機種名「型式」	CF C	HCF C	HF C	100g 未 満	100g 以上 200 未満	200g 以上	省定は己証品	備考(回収できるフロン)
(株)ゼクセ ル	ZRR07-10A	0				0		O *	12
ヴァレオク ライメート	ZRR02-11A	0				0		<u></u> *	12
コントロー	ZRR07-12A	0				0		O *	12
ル	ZRR07-10A1	0				0		O*	12
	ZRR07-12B	0				0		<u></u> *	12
(14.) > > >	ZRR21-20A			0		0		<u></u> *	134a
(株)ゼクセル	ZRR21-20A•30A			0		0			134a
コールド システム ズ	1070XL-Z	0		0		0		0	12、134a
ダイキン	PV04A	0	0			0		O *	12, 22, 502
工業(株)	CFK-H3J	0				0		<u></u> *	12
大昭和産 業	1090			0		0		O *	134a
タスコジャ	TA1 10R	0	0	0		0		0	12、22、134a、407、410
パン(株)	TA110A	0	0	0		0		0	12、22、134a、407、410
	TA1 10B	0	0	0		0		0	12、22、134a、407、410
	TA110C	0	0	0			0	0	12, 22, 134a, 407, 410
	TA1 10M	0	0	0					12, 22, 134a, 404A, 407C,
						0		0	407E, 410, 500, 502, 507A
	TA110MX	0	0	0					12, 22, 502, 134a, 404, 407,
							0	0	410A
	TA110RX	0	0	0					12、22、502、134a、404、407、 410A
						0		0	12, 22, 502, 134a, 404, 407,
	TA1 10X	0	0	0			0	0	410A
中京 EG	F-40	0	0			0	0	O*	12, 22, 502
中国冷空	CFR-125L	0	0			0		O*	12, 22, 502
工	CFR-125L II	0	0			0		O*	12, 22, 502
デンゲン	CS-RF100	0			0)		0*	12
(株)	CS-RF100Y	0		0	0			0	12、134a
,	CS-RF134Y	0		0	0			0	12, 134a
	CS-RF50YD	0		0		0		0	12, 134a
	CS-RF80YD	0		0		0		0	12, 134a
	CS-RF55YD	0	0	0		0		0	12、22、134a、407、410、502
	CS-RF85YD	0	0	0		0		0	12、22、134a、407、410、502
	CS-RF500YD	0	0	0		0		0	12、22、134a、407、410、502
	CS-RF210	0		0		0		0	12、134a
	CS-RF210SX	0		0		0		0	12, 134a
	CS-RF550	0	0	0			0	\circ	12、22、134a、407、410、502
	CS-MRC-1	0		0		0		0	12、134a
	CS-MRG-1-PX	0		0		0		0	12、134a
	CS-MRG-Jr	0		0		0		0	12、134a
	CS-MRG-Jr-G	0		0		0		0	12、134a
	CS-MRG-Jr-PX	0		0		0		0	12、134a
	CS-MRG-Jr-GPX	0		0		0		0	12、134a
	CS-MRG-Jr II	0		0		0		0	12、134a
	CS-MRG-Jr II -PX	0		0		0		0	12、134a
	ECO-MX	0		0		0		0	12、134a
	ECO-MXP	0		0		0		0	12、134a
	ECO-MXZ			0		0		0	134a

		口口	又できる光	対媒	回収	化能力(g	/min)	通産	
社 名	機種名「型式」	CF C	HCF C	HF C	100g 未 満	100g 以上 200 未満	200g 以上	省定は己証品	備考(回収できるフロン)
	ECO-MXZP			0		0		0	134a
	CS-EMZ			0		0		0	134a
	CS-EMZ-PX			0		0		0	134a
	CS-WENZ-PX							0	134a
	(エコマックスⅡ)		0			0			
(14.)	KANSAIKAKEN111-B			0		0		0	134a
(株)デンソ <u>ー</u>	ESR-10AC	0			0			<u></u> *	12
日本電装	ESR-10ACR	0			0			O *	12
(株)	ESR-20ACR	0		0	0			O *	12、134a
	WFRK02			0		0		0	134a
東芝キヤ	FR-PM182	0	0	0		0		0	12, 22, 134a, 407, 410
リア	FR-PM201	0	0	0		0		0	12, 22, 134a, 407, 410
EG(株)	FR-FM1001	0	0	0	_		0	0	12, 22, 134a, 407, 410
トキメック	FK-1	0			0			O*	12
	FK-2	0			0			O*	12
東洋キヤリア	12RA001100-21	0	0			0		<u></u> *	12、22、500、502
(株)東洋 エンター プライズ	T10128	0		0		0		0	12、134a
桃陽電線	MINI-R	0	0	0	0			0	12, 22, 134a, 500, 502
你俩电脉	GOLDEN-NAGGET	0	\circ	0	0			\circ	12、22、134a、407、410
(株)トルネ	PDF-20	0	0				0	0	12, 502, 22
ス	PDF-20N	0	0	0			0	0	12、502、22、134a
(株)中島	NA-601	0					0	O*	12
自動車電	NA-610	0	0				0	0*	12, 22
装	NA-810	0	0				0	0*	12, 22, 502
	NA-811	0	0	0			0	0	12, 22, 134a, 502, 500
	NA-710	0	0				0	<u></u>	12, 22, 502
	NA-711	0	0	0			0	0	12, 22, 134a, 502, 500
	NA-600	0	0	0		0	0	0	12, 22, 134a, 502, 500
	NA-400 NA-1100	0	0	0		0	0	O ()*	12, 22, 134a, 502, 500 12, 22, 134a, 500, 502
	NA-1100 NA-1100S	0	0	0			0	0	12, 22, 134a, 500, 502
	NA-730	0	0	0			0	0	12, 22, 134a, 500, 502
	NA-730S	0	0	0			0	0	12, 22, 134a, 500, 502
									12, 22, 134a, 407, 410,
	NA-740	0	0	0			0	0	404、500、502
	NA-740S	0	0	0			0	0	12, 22, 134a, 407, 410, 404, 500, 502
	NA-750S	0	0	0			0	0	12、22、134a、407、410、 404、500、502
	NA-1000W	0	0	0			0	0	12, 22, 134a, 500, 502
	NYR-600NA	0	0	0			0	0	12, 22, 134a, 500, 502
	CAL-400	0	0	0		0		0	12, 22, 134a, 500, 502
	NRU-21	0	0	0		0		0	12, 22, 134a, 500, 502
	NA-21	0	0	0		0		0	12, 22, 134a, 500, 502
	NA-1	0	0	0					12、22、134a、407、404、
	NA-22MUC	\cap			0			0	500, 502
	NA-22MHC	0	0	0		0		0	12, 22, 134a, 500, 502
	NRU-10	\cup		0				0	12, 22, 134a, 500, 502
	NA-760	0	0	0			0	0	12, 22, 134a, 404A, 407A, 407C, 410A, 500, 502, 507A

		口口	仅できる光	対媒	回収	化能力(g/	/min)	通産	
社 名	機種名「型式」	CF C	HCF C	HF C	100g 未 満	100g 以上 200 未満	200g 以上	省 定 は 己 証 品	備考(回収できるフロン)
	NA-MAX	0	0	0		0		0	12, 22, 134a, 404A, 407C, 410A, 500, 502, 507A
日石三菱 (株)	ACR5Jb	0		0		0		0	12、134a
(現新日	ACR5	0		0		0		<u></u> *	12、134a
本石油 (株))	ACR-NMO201	0	0	0		0		0	12、134a、22、502、404、 407、410、507
	NOR-300S			0		0		0	134a
日本整備	BREEZE134			0		0			134a
(株)	NEW-TWIN-GAS	0		0		0			12、134a
	ASTRABUS134 DiGiClima134			0		0			134a
	TURBO Clima	0		0		0			134a 12, 134a
	FG-400	0		0		0		0	12, 134a
	OKC-134)		0		0		0	134a
ハマ冷機	EJ-R753A	0	0			0		O *	12, 22, 502
日立アプ ライアンス (株)	FWB-2137598			0			0	0	134a
(株)日立	SE-20RU	0	0			0		0	12, 22, 500, 502
空調シス テム	SE-21RU	0	0	0			0	0	134a
(株)日立	SRP-02	0					0	0	11
製作所	SPC-03	0					0	0	11
and a second	YF-01S	0					0	0	11
(株)日立	W-1	0	0				0	0	11, 113, 123
ビルシステム	W-2	0	0		_		0	0	11, 113, 123
日立カー	HR-2000	0			0			O*	12
エレクトロニクス	HR-5000	0			0			<u></u> *	12
文化貿易	CR500J	0	0	0		0		0	12, 22, 134a, 407, 410
工業(株)	CR600J	0	0	0		0		0	12, 22, 134a, 407, 410
	RM-14000 AR-200J	0	0	0		0		0	12、22、134a、407、410 134a
	AR-212TRJ	0				0		0	12
	AR-400.J	0				0		0	12、134a
	CR-700J	0	0	0			0	0	12、22、502、134a、410A、 407C、404A、507A
	RM300	0	0	0					12, 22, 500, 502, 134a, 404A,
(株)FUSO							0	0	407C, 410A 12, 22, 502, 134a, 401 b,
(1/4)1-030									401c,
	G5Twin	0	\circ	0					402a, 402b, 404A, 409a, 407a, 407B, 407C, 407d, 408a,
							0	0	410A,
									411a, 411b, 412a, R507
									12、22、502、134a、401 b、 401c、
	G5Twin-musashi	0	0	0					402a, 402b, 404A, 409a, 407a,
	GOT WIIT III UGASIII						0	0	407B、407C、407d、408a、 410A、
									411a, 411b, 412a, R507
ホーザン	HA-1000	0	0	0	0			0	12、134a、22、502、407、410

		口	仅できる片	分媒	回収	化能力(g/	/min)	通産	
社 名	機種名「型式」	CF C	HCF C	HF C	100g 未 満	100g 以上 200 未満	200g 以上	省 定 は 己 証 品	備考(回収できるフロン)
(株)									
ボッシュ	A/Ccellence2500			0		0		0	134a
(株)	A/Ccellence3000			0		0		0	134a
	ACS751			0	0			0	134a
松下電器	CFR-1020R	0				0		O*	12
産業(株)	CFR-2020S	0	0			0		O*	12, 22
	CFR-1020S	0	0			0		O*	12, 22
松下エア コンエンジ ニアリング	HS-BF410A	0	0	0		0		0	12、22、134a、407、410
三笠サービス	R300-MH	0				0		<u></u> *	12
マツダ産	MFR-920	0				0		0*	12
業	MFR-930	0				0		O *	12
	MFR-925	0				0		0*	12
	MFR-240	0				0		O *	22,502
	MFR-940	0				0		O *	12
	MFR-410			\circ		\circ		$\bigcirc *$	134a
	MFR-921	0				0		O *	12
	MFR-420	0		0		0		0	12, 134a
三菱重工	URR102	0		0		0		O *	12、134a
業(株)	URR103	0		0		0		O *	12、134a
	URR103A	0		0		0		O *	12、134a
	URR103B	0		0		0		O *	12、134a
	URR120	0		0			0	O *	12、134a
三菱重工									12, 22, 134a, 500, 502
冷熱機材	MOR751	0	0	0			0	O *	(404A、407C、507A)
(株)	MOR400	0	0	0		0		O *	12、22、134a、500、502
									(404A、407C、507A)
	MOR405J	0	0	0		0		0	12、22、134a、500、502、
									404A、407C、507A
	MOR405JH	0	0	0		0		0	12、22、134a、500、502、
									404A、407C、410A、507A
	MOR405JHX	0	0	0		0		0	12、22、134a、500、502、
	-								404A, 407C, 410A, 507A
	PR4510	0	0	0		0		0	12、22、134a、502、404A、
									407C、410A
	MOR4000J	0	0	0		0		<u></u> *	12、22、134a、500、502
	MOR4000J II	0	0	0					12、22、134a、500、502、
	·					0		0	404A、407C、410A、507A
	MOR1 150	0		0		0		0	13、23、503、508A
三菱電機	FR-06A	0	0	0	0			0	12、22、134a、500、502
エンジニ	FR-06B	0	0	0		0		0	12、22、134a、404、410
アリング	FR-07A	0	0	0		0		0	12, 22, 134a, 404, 407, 410
(株)	FRJ-07A	0	0	0		0		0	12, 22, 134a, 404, 407, 410
	FR-20A	0	0	0			0	0*	12, 22, 134a, 114, 502
三菱電機	MRK-06A	0	0	0	0			0*	12, 22, 134a, 500, 502
ビルテクノ	MRK-20A	0	0	0			0	<u></u> *	12、22、134a、114、502
サービス (株)	MRK-50A	0	0				0	O *	12, 22, 502
ヤマダ	RRS-20	0		0		0		0	12、134a
コーポレ	RRS-201	0		0		0		0	12, 134a
ーション	RCS-20	0		0		0		0	12, 134a
(株)	PFR-10	0	0	0		0		0	12, 22, 134a, 407, 410
	ı				Ī				, , =, == , == ,

		回口	又できる光	対媒	回収	双能力(g/	/min)	通産	
社 名	機種名「型式」	CF C	HCF C	HF C	100g 未 満	100g 以上 200 未満	200g 以上	省定は己証品	備考(回収できるフロン)
	RVC-22	0		0		0		0	12, 134a
	RCS-20A	0				0		0	12、134a
	BRCS-20L	0		\circ		\circ			12, 134a
	PFR-10A	0	0	0		0		0	12, 22, 134a, 404A, 407C, 410A, 502
	RSA-10	0				0		0	12、134a
	BAC-21VWA	0		\circ		\circ		\circ	12、134a
	RCS-20TP	0				0		0	12、134a
	RCS-20TP-P	0		\circ		\circ		\circ	12、134a
	RSA-10 (881130)			0		0		0	134a
ユニクラ	セルコン 8000	0				0		O *	R12、R22、R134a、R404A、 R407C、410A
	セルコン 1000AB	0				0		O *	12
レッキス工 業(株)	RP-5410	0	0	0		0		0	12, 22, 134a, 502, 404A, 407C, 410A
(株)ロテッ	RP-5000	0	0			0		0	12、22、134a、500、502
クス	RP-5410	0	0	0		0		0	12、22、134a、502、404A、 407C、410A
	RP-5210	0	0	0	0			0	12、22、134a、404A、407、410
	RP-5300	0		0		0		0	12、22、134a、410A、407C、 404A
	RE060j-3001	0	0	0			0	0	12, 22, 134a
	RE077j-5001	0	0				0	0	12, 22, 134a
	RF550	0	0	0			0	0	12、22、134a、407、410、502
	RP5710/RA050J-1001	0	0	0			0	\circ	12、22、134a
渡商会	ガスパック 12V1	0			0			O *	12

4. 法定様式

(1)第一種フロン類充塡回収業者の登録申請書

様式第1 (第8条関係)

(表面)

第一種フロン類充塡回収業者 登 録 申請書 登録の更新

※登録番号			
※登録年月日			
	年	月	H

都道府県知事

殿

(郵便番号) 住 所 氏 名 印 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 第27条第2項 第30条第2項

必要な書類を添えて第一種フロン類充塡回収業者の登録の更新を申請します。

事業所の名称及び	所在地				
名 称					
所在地 (垂	郵便番号) 雷影	番号			
同収の対象とする	第一種特定製品の種類等及び	10-01	うとす	スフロン類の	の種類
	する第一種特定製品の種類等			うとするフロ	
	7.02/1		CFC	HCFC	HFC
(1)エアコンラ	ディショナー				
(2)冷蔵機器	• 冷凍機器				
フロン類の	の充塡量が50kg以上の第一種料	定			
製品					
充塡の対象とする	第一種特定製品の種類及び充地	真しよう	とする	フロン類の種	重類
充塡の対象と	する第一種特定製品の種類	充	塡しよ	うとするフロ	ン類の種類
	TANALOS PARTE DE LA CONTRACTOR DE LA CON		CFC	HCFC	HFC
(1)エアコンラ	ディショナー	22.0		k: 5	
(2)冷蔵機器					
フロン類回収設備	の種類、能力及び台数	_			
設備の種類	9	能	力		
1	200g/min未満		á	200g/minl	以上
CFC用	45	台			台
HCFC用	u:	台			台
HFC用	ps.	台			台
CFC、HCFC兼月		台			台
CFC、HFC兼用		台			台
HCFC、HFC兼月	CMP-corns	台			台
CFC、HCFC、HFC	兼用	台			台

(裏面)

- 備考 1 ※印の欄は、更新の場合に記入すること。
 - 2 「回収の対象とする第一種特定製品の種類等及び回収しようとするフロン類の 種類」及び「充塡の対象とする第一種特定製品の種類及び充塡しようとするフロ ン類の種類」の欄には、該当するものに丸印を記入すること。
 - 3 事業所が複数ある場合には、「事業所の名称及び所在地」以降の欄を繰り返し 設け、事業所ごとに記載すること。
 - 4 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 5 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。
 - 6 下記の欄には、申請に係る事項の補足的説明、フロン類の回収を自ら行う者若 しくはフロン類の回収に立ち会う者の氏名又はフロン類の充塡を自ら行う者若し くはフロン類の充塡に立ち会う者の氏名等を、任意に記載することができる。

	1
12	

(2)変更届出書

様式第2 (第11条関係)

第一種フロン類充塡回収業者変更届出書

年 月 日

都道府県知事 殿

(郵便番号) 住所 氏名 印 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 登録番号

第一種フロン類充塡回収業者に係る以下の事項について変更したので、フロン類の使用 の合理化及び管理の適正化に関する法律第31条第1項の規定により、関係書類等を添え て届け出ます。

	新	旧
変更の内容		
変更理由		

- 備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。

(3) 充填量•回収量報告書(新様式)

第一種フロン類充塡回収業者から都道府県知事への、一年度の充塡量・回収量等に関する報告書。(新様式: 平成 27 年度業務についての平成 28 年度報告から使用。)

様式第3 (第52条関係)

第一種フロン類充塡回収業者のフロン類充塡量及び回収量等に関する報告書

年 月

都道府県知事

鹏

(郵便番号) 住 所 氏 名 印 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 登録番号

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律第47条第3項の規定に基づき、 次のとおり報告します。

	(+)		LAN NA HIGH	stor Area viriana	(a) A #1	
	(1) エアコ ナー	ンアイショ	(2) 冷蔵機 機器	器及び冷凍	(3) 合計	
	設置	設置以外	設置	設置以外	設置	設置以外
CFCを充填した第一種	1	HAU-DOUT	HAIF	HAIREOVI	HALL	EXECUTE OF THE PROPERTY OF THE
特定製品の台数 ①充填した量	台	台	台	台	台	台
①充填した量	kg	kg	kg	kg	kg	kı
	(1) エアコ	ンディショ	(2) 冷藏核	器及び冷凍	(3) 合計	000 S100
	ナー	Table also Note	大阪 10.0 (政治)	electic file	26/A:	THE SECTION
	整備	廃棄等	整備	廃棄等	整備	廃棄等
CFCを回収した第一科 特定製品の台数 ②回収した量	· 台	台	台	台	台	ź
②回収した量	kg	kg		kg	kg	kı
③年度当初に保管してい	た量	400	1 72	ii	kg	k
④第一種フロン類再生	学者に引き渡1	た量		3	kg	k
(5)フロン類破壊業者に引	月き渡した量	0.0120020000000000000000000000000000000			kg	k
⑤フロン類破壊業者に ⑥法第50条第1項た	どし書の規定は	こより自ら利	呼上、 充塡	したフロン		
類の量					kg	k
⑦第49条第1号に規定	全する者に引き	渡した量			kg	k
8年度末に保管していす					kg	k
ICFC	District Control of the Control of t		Uma view of the control of the contr		354,55 - 1955- 10	
	(1) エアコ	ンディショ	(2) 冷藏核 機器	器及び冷凍	(3) 合計	
8	設置	設置以外	設置	設置以外	設置	設置以外
HCFCを充塡した第一	- HALE	IIV.	HASE	RAILE OF I	HALE	RAINE
種特定製品の台数	台	台	台	台	台	
(9)充塡した量	kg	kg	kg	kg	kg	kı
⑨充塡した量	(1) エアコ		kg (2) 冷蔵核	kg 器及び冷凍	kg (3) 合計	kı
⑨充塡した量	(1) エアコ ナー	ンディショ	(2) 冷蔵核 機器	器及び冷凍	(3) 合計	kı
⑨充塡した量	(1) エアコ		(2) 冷蔵機			廃棄等
⑨充填した量 HCFCを回収した第-	(1) エアコ ナー 整備	ンディショ 廃棄等	(2) 冷蔵核 機器 整備	器及U哈凍 廃棄等	(3) 合計整備	廃棄等
⑨充填した量 HCFCを回収した第一種特定製品の台数	(1) エアコ ナー 整備 - 台	ンディショ 廃棄等 台	(2) 冷藏機 機器 整備 台	器及び冷凍 廃棄等 台	(3) 合計 整備 台	廃棄等
⑨充填した量 HCFCを回収した第- 種特定製品の台数 ⑩回収した量	(1) エアコ ナー 整備 - 台 kg	ンディショ 廃棄等	(2) 冷蔵核 機器 整備	器及U哈凍 廃棄等	(3) 合計整備	廃棄等
⑨充填した量HCFCを回収した第一種特定製品の台数⑩回収した量⑪年度当初に保管している	(1) エアコ ナー 整備 - お な な な な た 最	ンディショ 廃棄等 台 kg	(2) 冷藏機 機器 整備 台	器及び冷凍 廃棄等 台	(3) 合計 整備 台	廃棄等
⑨充填した量HCFCを回収した第一種特定製品の台数⑩回収した量⑪年度当初に保管してい⑫第一種フロン類再生3	(1) エアコ ナー 整備 - 台 kg た量 業者に引き渡し	ンディショ 廃棄等 台 kg	(2) 冷藏機 機器 整備 台	器及び冷凍 廃棄等 台	(3) 合計 整備 台 kg	廃棄等
⑨充填した量HCFCを回収した第一種特定製品の台数⑩回収した量⑪年度当初に保管してい⑫第一種フロン類再生3⑬3フロン類破壊業者に	(1) エアコ ナー 整備 台 kg た量 業者に引き渡し 引き渡した量	ンディショ 廃棄等 台 kg	(2) 冷藏機 機器 整備 台 kg	器及U冷凍 廃棄等 台 kg	(3) 合計 整備 台 kg kg	廃棄等 左 ky ky
⑨充填した量HCFCを回収した第一種特定製品の台数⑩回収した量⑪年度当初に保管してい⑫第一種フロン類再生⑬オロン類破壊業者に⑭法第50条第1項た	(1) エアコ ナー 整備 台 kg た量 業者に引き渡し 引き渡した量	ンディショ 廃棄等 台 kg	(2) 冷藏機 機器 整備 台 kg	器及U冷凍 廃棄等 台 kg	(3) 合計 整備 台 kg kg	廃棄等 左 ks ks
⑨充填した量HCFCを回収した第一種特定製品の台数⑩回収した量⑪年度当初に保管してい⑫第一種フロン類再生3⑬法第50条第1項たが類の量	(1) エアコ ナー 整備 台 kg バた量 繋者に引き渡し 引き渡した量 どし書の規定に	ンディショ 廃棄等 台 kg た量 こより自ら戸	(2) 冷藏機 機器 整備 台 kg	器及U冷凍 廃棄等 台 kg	(3) 合計 整備 台 kg kg	kg
①充填した量HCFCを回収した第一種特定製品の台数⑩回収した量⑪年度当初に保管してい①第一種フロン類再生①3フロン類破壊業者に⑭法第50条第1項た	(1) エアコ ナー 整備 台 kg バた量 繋者に引き渡し 引き渡した量 どし書の規定に	ンディショ 廃棄等 台 kg た量 こより自ら戸	(2) 冷藏機 機器 整備 台 kg	器及U冷凍 廃棄等 台 kg	(3) 合計 整備 台 kg kg kg	廃棄等 左 ks ks

	(1) エアコ ナー	ンディショ	機器	機器及び冷凍	(3) 合計	
	設置	設置以外	設置	設置以外	設置	設置以外
HFCを充塡した第一種 特定製品の台数	台	台	台	台	台	ź
(7) 元頃した量	kg	kg	ks	kg	kg	ks
	(1) エアコ ナー	ンディショ	(2) 冷蔵 機器	機器及び冷凍	(3) 合計	
3	整備	廃棄等	整備	廃棄等	整備	廃棄等
HFCを回収した第一種 特定製品の台数	台	台	台	台	台	ź
(18回収した量	kg	kg	ks	8000	kg	k
(19年度当初に保管してい		\$10 —3592	2 0-0	No. 12KSR	kg	kı
20第一種フロン類再生業	者に引き渡し	た量			kg	kı
20フロン類破壊業者に引	き渡した量			- 1	kg	ks
②法第50条第1項ただ 類の量	し書の規定に	こより自ら利	胜し、充塡	したフロン	kg	k
②第49条第1号に規定		渡した量			kg	k
の年度末に保管していた	周-				kg	kı

備考

1 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。 2 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。 3 原則として、②+③=④+⑤+⑥+⑦+⑧、⑩+⑪=⑫+⑬+⑭+⑮+⑮、⑱+ ⑲=②+②+②+②+②となるようにすること。 4 第49条第2号に該当する場合にあっては、引渡し及び返却の年月日、申請者の氏名又は名称及び住所並びにフロン類の種類ごとの量を記載した書面を添付すること。 €.

旧様式

(平成 26 年度業務の報告(平成 27 年度に行う報告に使用))

(4) 充填量•回収量報告書(旧様式)

第一種フロン類充塡回収業者から都道府県知事への、一年度の回収量等に関する報告書。

殿

様式第3 (第11条関係)

第一種フロン類回収業者のフロン類回収量等に関する報告書

年 月 日

都道府県知事

(郵便番号)

住 所

氏 名 印

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号登録番号

y 壊の実施の確保等に関する法律第22条第3項の

特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律第22条第3項の規定に基づき、次のとおり報告します。

CFC						
	(1) エアコ ショナー	コンディ	(2) 冷蔵核 冷凍機器		(3) 台	計
	整備	廃棄等	整備	廃棄等	整備	廃棄等
CFCを回収した第一						
種特定製品の台数	台	台	台	台	台	台
①回収した量	kg	kg	kg	kg	kg	kg
②年度当初に保管していた	量				kg	kg
③フロン類破壊業者に引き	渡した量				kg	kg
④自ら再利用した量					kg	kg
⑤第7条に規定する者に引	⑤第7条に規定する者に引き渡した量					
⑥年度末に保管していた量					kg	kg
HCFC						
	(1) エアコ	コンディ	(2) 冷蔵材	機器及び	(3) ≙	計
	ショナー		冷凍機器			
	整備	廃棄等	整備	廃棄等	整備	廃棄等
HCFCを回収した第						
一種特定製品の台数	台	台	台	台	台	台
⑦回収した量	kg	kg	kg	kg	kg	kg
⑧年度当初に保管していた:					kg	kg
⑨フロン類破壊業者に引き	渡した量				kg	kg
⑩自ら再利用した量					kg	kg
⑪第7条に規定する者に引	き渡した量				kg	kg
⑩年度末に保管していた量					kg	kg
HFC	1					
	(1) エアコ	コンディ	(2) 冷蔵核	幾器及び	(3) 合	計
	ショナー	and an and a state	冷凍機器	-to-to-to-t	-def- 111-	
TAR O & Friday & Mr	整備	廃棄等	整備	廃棄等	整備	廃棄等
HFCを回収した第一			,		,	
種特定製品の台数	台	台	台	台	台	台
③回収した量	kg	kg	kg	kg	kg	kg
④年度当初に保管していた。					kg	kg
(5)フロン類破壊業者に引き	渡した量				kg	kg
16自ら再利用した量					kg	kg
⑪第7条に規定する者に引	さ渡した量				kg kg	kg kg
18年度末に保管していた量	⑧年度末に保管していた量					

- 備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。
 - 3 原則として、①+②=③+④+⑤+⑥、⑦+⑧=⑨+⑩+⑪+⑫、<math>③+Φ=⑤+⑥+①+®となるようにすること。

5. 記載例

202 20					新規は未記入	、更新時には、登録
様式	第1(第8多	条関係)			号と登録年月1	
(表		1404717		i		
1.		hadan d	チファン海大場回収業を登	録。	La Satrada.	
		第一村	申 ノ ロ ノ 紅 弁 1頃 旧 11以 美 名	録の更新	申請書	
	. 1.2.34.3		▼			**
当しな	い方を消す		······································	※登録番号	<u>.</u>	◀
				※登録年月	月日	
			, L	平瓦	戈 YY年 MM	月 DD日
0	○県知事 ∠		殿		.	··· 申請する日を
				号) 123	-4567	:
				所 ★★ 県 名 フロン	霞ヶ関市日 回収破壊株	本8-9-10 式会社 印
••••••	•••••••	••••••	(法人に	有っては、	名称及び代	表者の氏名)
	•••••	•••••	電話番	号 (12	3) 456	表者の氏名)▼
_	v VC a Hel	TI es A em // .	T < 10 / THE 1- 27	第27	7条第2項。	規定により、
フ	ロン類の使用	刊の台埋化	及び管理の適正化に関する	法律 第3()条第2項	D規定により、
No one	Labora or	· the re-	登	録、	+ =+ 1 1. 1.	
必要	な書類を添え	えて第一種	フロン類充塡回収業者の予	録の更新を	申請します。	
本	業所の名称及	ロッドラビナール			— 佐 任っ	
事		metalene benedit en andere ble	7. 位据性学会社 (表) 明東歌	rac		ロン類充塡回収業を 氏名(個人)又は名
		A STATE OF THE PERSON NAMED IN COLUMN	双破壊株式会社 虎ノ門事務	SHI	(法人)	
	所在地	The state of the s	分 0 9 8 - 7 6 5 4		ŧ	
		〇〇 界虎	7門市経済3-2-1	(000)	765-4	2.0.1
Inches	四のお毎し	トッか だ	电前笛方	(090)	705-4	0 4
			特定制具の種類等及び同じ	トラレオ	スフロン粨	C 4000 MON 4400
[11]		en constituent en constituent	特定製品の種類等及び回収一種特定製品の種類等	Control of the control of	A CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR	の種類
□		en constituent en constituent	特定製品の種類等及び回収 一種特定製品の種類等	回収しよ	うとするフロ	の種類 ン類の種類
	回収の対象	象とする第	一種特定製品の種類等	回収しよ・ CFC	うとするフロ HCFC	の種類
▼	回収の対象 (1)エアコ	象とする第 ンディショ	一種特定製品の種類等	回収しよ	うとするフロ HCFC ○	の種類 ン類の種類
<u>□</u>	回収の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機	象とする第 ンディショ 器・冷凍核	一種特定製品の種類等 コナー 銭器	回収しよ・ CFC	うとするフロ HCFC 〇	の種類 ン類の種類
<u>□</u>	回収の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機 フロン	象とする第 ンディショ 器・冷凍核	一種特定製品の種類等	回収しよ・ CFC	うとするフロ HCFC ○	の種類 ン類の種類
4	回収の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機 フロン 製品	象とする第 ンディショ 器・冷凍棒 類の充塡』	一種特定製品の種類等 ロナー 後器 量が50kg以上の第一種特定	回収しよっ CFC 〇	うとするフロ HCFC 〇 〇	の種類 ン類の種類 HFC
4	回収の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機 フロン 製品 塡の対象とで	象とする第 ンディショ 器・冷凍検 類の充塡量 する第一種	一種特定製品の種類等 コナー 後器 量が50kg以上の第一種特定 特定製品の種類及び充填し	回収しよっ CFC 〇 〇 ようとする	うとするフロ HCFC 〇 〇 フロン類の利	の種類 ン類の種類 HFC
4	回収の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機 フロン 製品 塡の対象とで	象とする第 ンディショ 器・冷凍検 類の充塡量 する第一種	一種特定製品の種類等 ロナー 後器 量が50kg以上の第一種特定	回収しよっ CFC 〇 〇 ようとする 充塡しよっ	うとするフロ HCFC 〇 〇 フロン類ので うとするフロ	の種類 ン類の種類 HFC 値類 ン類の種類
4	回収の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機 フロン 製品 填の対象とで 充塡の対象	象とする第 ンディショ 器・冷凍核 類の充塡 する第一種 象とする第	一種特定製品の種類等 ナー と は は は は 大 と は だ が が が が が が が が が が が が	回収しよっ CFC 〇 〇 ようとする	うとするフロ HCFC 〇 〇 フロン類の利	の種類 ン類の種類 HFC
4	回収の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機 フロン 製品 填の対象とで 充塡の対象 (1)エアコ	象とする第 ンディショ 器・冷凍検 類の充塡量 する第一種	一種特定製品の種類等 コナー 機器 量が50kg以上の第一種特定 特定製品の種類及び充填し 一種特定製品の種類	回収しよっ CFC	うとするフロ HCFC 〇 〇 フロン類の うとするフロ HCFC	の種類 ン類の種類 HFC 値類 ン類の種類
充	回収の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機 フロン 製品 填の対象と 充塡の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機	象とする第 ンディショ 器・冷凍検 類の充塡 する第一種 象とする第 ンディショ 器・冷凍核	一種特定製品の種類等 コナー 機器 量が50kg以上の第一種特定 特定製品の種類及び充填し 一種特定製品の種類	回収しよっ CFC 〇 〇 ようとする 充填しよっ CFC	うとするフロ HCFC 〇 〇 フロン類の うとするフロ HCFC	の種類 ン類の種類 HFC 値類 ン類の種類
充	回収の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機 フロン 製品 填の対象と 充塡の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機	象とする第 ンディショ 器・冷凍権 類の充塡量 する第一種第 ンディや凍糖 とサースを となる。	一種特定製品の種類等 コナー 機器 量が50kg以上の第一種特定 特定製品の種類及び充填し 一種特定製品の種類 コナー 機器 、能力及び台数	回収しよっ CFC 〇 〇 ようとする 充填しよっ CFC	うとするフロ HCFC 〇 〇 フロン類の うとするフロ HCFC	の種類 ン類の種類 HFC 値類 ン類の種類
充	回収の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機 フロン 製品 填の対象とす 充塡の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機 ロン類回収記	象とする第 ンディショ 器・冷凍権 類の充塡量 する第一種第 ンディや凍糖 とサースを となる。	一種特定製品の種類等 コナー 機器 量が50kg以上の第一種特定 特定製品の種類及び充填し 一種特定製品の種類 コナー 機器 、能力及び台数	回収しよっ CFC 〇 〇 ようとする 充填しよっ CFC	うとするフロ HCFC 〇 〇 フロン類の うとするフロ HCFC	の種類 ン類の種類 HFC 値類 ン類の種類 HFC
充	回収の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機 フロン 製品 填の対象とす 充塡の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機 ロン類回収記	象とする第 ンディショ 器・冷凍権 類の充塡量 する第一種第 ンディや凍糖 とサースを となる。	一種特定製品の種類等 コナー 機器 量が50kg以上の第一種特定 特定製品の種類及び充填し 一種特定製品の種類 コナー 機器 、能力及び台数 200g/min未満	回収しよっ CFC 〇 〇 ようとする 充填しよっ CFC	うとするフロ HCFC 〇 〇 フロン類の うとするフロ HCFC 〇	の種類 ン類の種類 HFC 値類 ン類の種類 HFC
充	回収の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機 フロン 製品 域の対象とす 充塡の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機 ロン類回収記 設備の種類	象とする第 ンディショ 器・冷凍権 類の充塡量 する第一種第 ンディや凍糖 とサースを となる。	一種特定製品の種類等 コナー 機器 量が50kg以上の第一種特定 特定製品の種類及び充填し 一種特定製品の種類 コナー 機器 、能力及び台数 200g/min未満 3 台	回収しよっ CFC 〇 〇 ようとする 充填しよっ CFC	うとするフロ HCFC 〇 〇 フロン類の うとするフロ HCFC 〇	の種類
充	回収の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機 フロン 製品 域の対象とで 充塡の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機 ロン類回収記 設備の種類	象とする第 ンディショ 器・冷凍権 類の充塡量 する第一種第 ンディや凍糖 とサースを となる。	一種特定製品の種類等 コナー 機器 量が50kg以上の第一種特定 特定製品の種類及び充填し 一種特定製品の種類 コナー 機器 、能力及び台数 200g/min未満 3 台 台	回収しよっ CFC 〇 〇 ようとする 充填しよっ CFC	うとするフロ HCFC 〇 〇 フロン類の うとするフロ HCFC 〇	の種類
充	回収の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機 フロン 製品 域の対象とす 充塡の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機 ロン類回収記 設備の種類 CFC用 HCFC用 HFC用	象とする第 ンディショ 器・冷凍権 類の充填し する第一種第 ンディショ とよう となる となる となる など で、冷凍権 設と は、 の種類 の種類	一種特定製品の種類等 コナー 機器 量が50kg以上の第一種特定 特定製品の種類及び充填し 一種特定製品の種類 コナー 機器 、能力及び台数 200g/min未満 3 台 台	回収しよっ CFC 〇 〇 ようとする 充填しよっ CFC	うとするフロ HCFC 〇 〇 フロン類の うとするフロ HCFC 〇	の種類
充	回収の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機 フロン 製品 塡の対象とす 充塡の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機 ロン類回収記 設備の種類 CFC用 HCFC用	象とする第 ンディショ 器の充填量 する第一をある からなって、冷凍を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	一種特定製品の種類等 コナー 機器 量が50kg以上の第一種特定 特定製品の種類及び充填し 一種特定製品の種類 コナー 機器 、能力及び台数 200g/min未満 3 台 台 台 台 3 台	回収しよっ CFC 〇 〇 ようとする 充填しよっ CFC	うとするフロ HCFC 〇 〇 フロン類の うとするフロ HCFC 〇	の種類
充	回収の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機 フロン 製品 域の対象とす 充塡の対象 (1)エアコ (2)冷蔵機 ロン類回収記 設備の種類 CFC用 HCFC用 HFC用 CFC、HCFC	象とする第 ンディシ連器の充っ 一種の第一を表し、一般では、 一種のでは、 一般では、 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。	一種特定製品の種類等 コナー 機器 量が50kg以上の第一種特定 特定製品の種類及び充填し 一種特定製品の種類 コナー 機器 、能力及び台数 200g/min未満 3 台 台	回収しよっ CFC 〇 〇 ようとする 充填しよっ CFC	うとするフロ HCFC 〇 〇 フロン類の うとするフロ HCFC 〇	の種類 ン類の種類 HIFC 種類 シ類の種類 HIFC

でFC、HCFC、HFC兼用 ロ コ 該当する欄に全○を付ける。記入例は、CFCとHCFCが充塡されている(1)エアコンディ ショナー、CFCとHCFCが充塡されている(2)冷蔵機器・冷凍機器、HCFCが 50kg 以上 充塡されている第一種特定からフロン類を充塡及び回収する場合

所有又は利用可能な回収設 備について、設備の種類ごと に能力に応じて、台数を記入

(2) 同一区域内にフロン類の回収を行う事業者が複数ある場合の申請方法

同一区域内での複数事業所の一括申請書の記入要領。

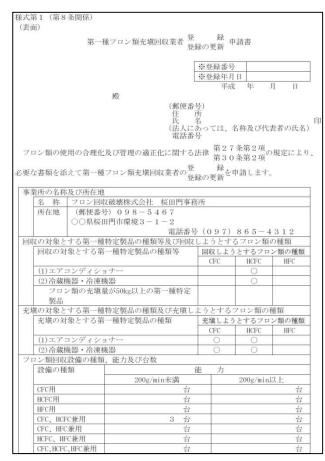
申請書1枚目

1枚目は、記入要領に従い全てを記入

(表面)	¥				
	¥				
	第一種フロン類充塡回収業者	E E録の更	録 [新 申記	青書	
		For example		_	
		_	録番号		
		※登	録年月日	20.0	
ero ero and formation of the			平成	YY年 MM	月 DD日
○○県知事 △△					
				4567	本8-9-10
	ET:	4 7	フロン回	以破壞株式	古会社 E
	(法人に	あって	は、名	称及び代表	表者の氏名) -7890
フロン類の使用の	合理化及び管理の適正化に関する	法律	第27条	第2項。	想定に上り
> 10 18(V) (Z/11V)	日至10人〇日至り過止1010円分	,124	37 0 0 3	CA1 7 -2K	
必要か事権を添きて	第一種フロン類充塡回収業者のき	Ē.	録か由	請します。	
LX SINCENCE	第 至 5 5 % 元 % 四 6 次 5 次 5 次 5 次 5 次 5 次 5 次 5 次 5 次 5 次	銀の要	初 一	an U oc 7 o	
事業所の名称及び	所在地				
	コン回収破壊株式会社 虎ノ門事	務所			
10 10	部便番号) 098-7654	606.00.1			
(A) (A))県虎ノ門市経済3-2-1				
		是 (0	98) 7	65-4	321
回収の対象とする	第一種特定製品の種類等及び回収				
	する第一種特定製品の種類等				ン類の種類
11100000000	7 S X7 IET7 CECHO - IEM 1	-	FC	HCFC	HFC
(1)エアコンラ	ディショナー	-	0	0	
(2) 冷蔵機器		_	0	0	
フロン類の	り充塡量が50kg以上の第一種特定			0	
製品					
	第一種特定製品の種類及び充填し	ようと	するフ	ロン類の	種類
充塡の対象と	する第一種特定製品の種類	充填	しようと	ナるフロ	ン類の種類
	, II II	-	FC	HCFC	HFC
(1)エアコンラ	ディショナー	- 0	0	0	
(2) 冷蔵機器	・冷凍機器	9	0	0	
フロン類回収設備	の種類、能力及び台数				
設備の種類		能	カ		
	200g/min未満			200g/minJ	以上
CFC用	3 台				台
HCFC用	台				台
HFC用	台				台
CFC、HCFC兼月					2 台
CFC、HFC兼用					台
HCFC、HFC兼月	日 台				台
CFC, HCFC, HFC	兼用 台				台

申請書2枚目以降

2枚目以降は、「事業者の名称」以下について記入。なお、事業所が3以上ある場合には、2枚目と同様の要領で申請書に必要事項を記入する。



6. 登録審查評価事例

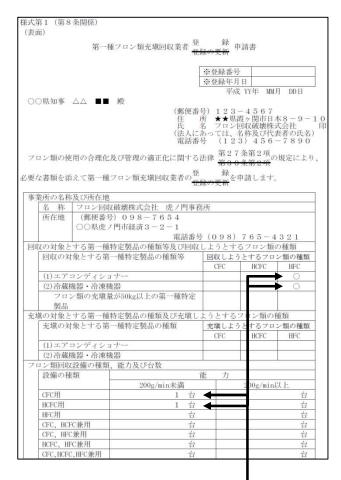
申請書類が【登録の基準】に適合しているか否かの登録審査例を示します。 (例-1)回収しようとするフロン類の種類と回収設備の種類との照合

申請基準を満たす例

申請基準を満たさない例

式第1 (第8: 表面)	条関係)				
(C[HI)	第一種フ	ロン類充塡回収業者	经	申請書	
		1	か、か、大利		
			※登録番	FF.	
			※登録年	2	
				戏 YY年 MM	月 DD 日
○○県知事		ŧ			
		(郵便番	特号) 123	-4567	
		住氏		・霞ヶ関市日2回収破壊株3	
		(法人に	もっては、	名称及び代表	表者の氏名
		電話者	号 (12	名称及び代3) 456	-7890
7 m > 485 as ldc	田の公園ルスコ	、管理の適正化に関する	第2	7条第2項。	田売に上り
ノロン頬の使	刊の古理化及び	電理の順正11に関する	第3	0 条第 2 項 ~	BUELLY!
買か書箱を添	ラで第一種フロ	ン類充塡回収業者の。	£ 録 _左	申請します。	
交小百想在166	へく分 種ノロ	ン規ル項四収米もの。	録の更新で	THIN U.S. Yo	
事業所の名称	878所在抽				
		要株式会社 虎ノ門事	務所		
所在地		098-7654	1/21/21		
101111111	to be the st	市経済3-2-1			
	00/100/17	The second secon	号(098)	765-4	3 2 1
可収の対象と	ナス第一種特定	:製品の種類等及び回り			
		持定製品の種類等		うとするフロ	
	3CC / W//	114 ACOCHA - IEAN 4	CFC	HCFC	HFC
(1)エアコ	ンディショナー	_	0	4	_
	器・冷凍機器		0	4	
フロン	類の充塡量が	50kg以上の第一種特定		1	
製品					
	ナる第一種特定	雲製品の種類及び充塡し	 ようとする	フロン類の種	u gi
充塡の対象と		製品の種類及び充塡し特定製品の種類		ー フロン類の利 うとするフロ	
充塡の対象と					
充填の対象と 充填の対:		特定製品の種類	充塡しよ	うとするフロ	ン類の種類
充填の対象と 充填の対: (1)エアコ	象とする第一種	特定製品の種類	充塡しよ	うとするフロ	ン類の種類
充填の対象と 充填の対: (1)エアコ (2)冷蔵機	象とする第一種 ンディショナー	特定製品の種類	充塡しよ	うとするフロ	ン類の種類
充填の対象と 充填の対: (1)エアコ (2)冷蔵機	象とする第一種 シディショナー と器・冷凍機器 設備の種類、能	特定製品の種類	充塡しよ	うとするフロ	ン類の種類
充填の対象と 充填の対 (1)エアコ (2)冷蔵機 フロン類回収	象とする第一種 シディショナー と器・冷凍機器 設備の種類、能	特定製品の種類	充填しよ CFC	うとするフロ	ン類の種類 HFC
充填の対象と 充填の対 (1)エアコ (2)冷蔵機 フロン類回収	象とする第一種 シディショナー と器・冷凍機器 設備の種類、能	特定製品の種類 - た力及び台数 - 200g/min未満 1 台	充填しよ CFC 能 力	うとするフロ HCFC	ン類の種類 HFC
充填の対象と 充填の対 (1)エアコ (2)冷蔵機 フロン類回収記 設備の種	象とする第一種 シディショナー と器・冷凍機器 設備の種類、能	特定製品の種類 - た力及び台数 200g/min未満 1 台 台	充填しよ CFC 能 力	うとするフロ HCFC	ン類の種類 HFC
充填の対象と充填の対象(1)エアコ(2)冷蔵機フロン類回収記設備の種類CFC用	象とする第一種 シディショナー と器・冷凍機器 設備の種類、能	特定製品の種類 - た力及び台数 - 200g/min未満 1 台	充填しよ CFC 能 力	うとするフロ HCFC	が 類の種類 HFC
充填の対象と 充填の対:(1)エアコ (2)冷蔵機 設備の種:CFC用 HCFC用	象とする第一種 シディショナー 装器・冷凍機器 設備の種類、能質	特定製品の種類 - た力及び台数 200g/min未満 1 台 台	充填しよ CFC 能 力	うとするフロ HCFC	を 類の種類 HFC
	象とする第一種 ンディショナ・ 設器・冷凍機器 設備の種類、能 類	特定製品の種類 - た力及び台数 200g/min未満 1 台 台 台	充填しよ CFC 能 力	うとするフロ HCFC	が 類の種類 HFC
だ填の対象と 充填の対象と 充填の対 (1)エアコ (2)冷蔵機 フロン類回収i 設備の種! CFC用 HCFC用 CFC、HCFC	象とする第一種 シディショナー と器・冷凍機器 設備の種類、能 類質	 特定製品の種類 200g/min未満 1 台 台 台 台	充塡しよ CFC 能 力	うとするフロ HCFC	類の種類 HFC

回収しようとするフロン類「CFC」とフロン類 回収設備の種類「CFC用」が一致している。



回収しようとするフロン類の種類と回収設備 の種類が一致していない。

(例-2)回収対象の特定製品の種類と回収設備の回収能力との照合

申請基準を満たす例

申請基準を満たさない例

様式第1 (第8条関係)					1000000000	第1 (第8条関係)				
(表面)	種フロン類充塡回収業者 登	録	自转业		(永	面) 第一:	種フロン類充塡回収業者登	绿	由端坐	
917 1	性ノロン類児項回収来有 並	録の更新	1, 411 52			315	催ノロン 頬儿填固収未行 登	ほの更新	A DH EL	
		※登録番号	+				1	※登録番	异	
		※登録年月						※登録年		
		平成	戈 YY年 MM	月 DD日				平	成 YY年 MM	月 DD日
○○県知事 △△ ■■					0	○県知事 △△ ■■				
	住 氏 (法人に 電話番	号) 123 ★★ ロ オ★ロ フロは、 号 (12	霞ヶ関市日 回収破壊株 名称及び代 3)456	本8-9-10 式会社 印 表者の氏名) -7890	1		(郵便番 住氏 (法人に 電話番	号) 1 2 3 ★★ロ フロ では、 では、 (1 2	-4567 霞ヶ関市日 回収破壊株 名称及び代 3)456-	本8-9-10 式会社 月 表者の氏名) -7890
フロン類の使用の会理化	こ及び管理の適正化に関する	注律第27	7条第2項。	り担定に上り	7	ロン類の使用の合理化	ご及び管理の適正化に関する。	井津 第2	7条第2項 ₀	担定に上り
必要な書類を添えて第一種	[フロン類充填回収業者の <u>祭</u>	ター要が を	申請します	0	必要	な書類を添えて第一種	ジョン類充塡回収業者の <u>登</u>	録。 ************************************	申請します。	
	M	家の大利				Mind to the second to the	34.3	水の火剤		
事業所の名称及び所在地		fecar			事	業所の名称及び所在地	! 収破壊株式会社 虎ノ門事務	ecor.		
	収破壊株式会社 虎ノ門事利 号) 098-7654	方PT					以做聚株式云任 虎ノ門事務 号) 098-7654	iPT .		
	グリリカー 7054 ノ門市経済3-2-1						グリリカー 7 0 5 4 ノ門市経済 3 - 2 - 1			
O O SKILL	The state of the s	+ (098)	765-4	1321		O O SKIJE		(098	765-4	3 2 1
回収の対象とする第一種	特定製品の種類等及び回収				[17]	収の対象とする第一種	特定製品の種類等及び回収			
	一種特定製品の種類等		うとするフロ				一種特定製品の種類等		うとするフロ	
handstatististist of the		CFC	HCFC	HFC		hat have to the training of the training		CFC	HCFC	HFC
(1)エアコンディシ:	ョナー	0	0			(1)エアコンディシ	ョナー	0	0	
(2)冷蔵機器・冷凍柱		0	0			(2)冷蔵機器・冷凍権		0	0	
The state of the s	量が50kg以上の第一種特定		•				量が50kg以上の第一種特定	Г	→ ○	
製品	the tender of the second of the second		400	44.60		製品	A Land of the Control		400	tot dese
	特定製品の種類及び充填し		フロン類の	1000000	九		特定製品の種類及び充填し		177	
允項の対象とする弟	了一種特定製品の種類		うとするフロ			允項の対象とする第	第一種特定製品の種類		うとするフロ	
(1)エアコンディシ		CFC	HCFC	HFC		(1)エアコンディシ		CFC	HCFC	HFC
(2)冷蔵機器・冷凍株		0				(2) 冷蔵機器・冷凍権		0	- 0	
フロン類回収設備の種類					7	ロン類回収設備の種類		0		
設備の種類		能力				設備の種類	The state of the s	能 力		
100,000	200g/min未満		200g/min	以上		10. VIII -> 10. AV	200g/min未満		200g/minJ	以上
CFC用	台			台		CFC用	台			台
HCFC用	台			台		HCFC用	台			台
HFC用	台			台		HFC用	台			台
CFC、HCFC兼用	台		→	2 台		CFC、HCFC兼用	1 台	\blacksquare		台
CFC、HFC兼用	台			台		CFC、HFC兼用	台			台
HCFC、HFC兼用	台			台		HCFC、HFC兼用	台	\rightarrow		台
CFC、HCFC、HFC兼用	台			台		CFC、HCFC、HFC兼用	台			台

回収対象特定製品の種類と回収設備の能力が一致している。

回収対象特定製品の種類と回収設備の能力が一致していない。

7. 参考様式

(1)法29条第1項各号に該当しない者であることを誓約した書面の例

	哲言	約	書					
登録申請者及びそ び管理の適正化に ないものであることを	関する治	去律第						
			申	請	者	年	月	日
知事殿								

(2)都道府県による第一種フロン類充塡回収業者登録通知書の例

第一種フロン類充塡回収業者登録通知書

住所

氏名

(法人にあっては名称及び代表者の氏名)

第10条第2項

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 第12条第2項

第13条第2項

第一種フロン類充塡回収業者として登録した

の規定により 登録の更新を行った ことを通知する。

登録の変更を行った

都道府県知事 印

登録番号 登録年月日

有効期間満了年月日

(3) 充塡証明書・回収証明書の例

フロン類充塡証明書

証明書No.

交付年月日	年	月	В		
充塡した年月日	年	月	В		
充塡したフロン類の種類	種類(R番号)	R R		GWP値	
充塡したフロン類の量	充塡量(kg)				
設置時 整備時の別(どちらかにの)	機器	の整備時に	充塡	機器の	新設時に現場充塡
整備を発注した管理者 (機器の所有者等)	住 所	〒			
	氏名·名称				
管理担当者	住 所	⊢			
	氏 名			部署名	
	電 話			e-mail	
充塡した機器の所在	住 所	F			
	施設の名称 (建物名等)				
機器の特定情報	管理番号				
	型 番			製品番号	
第一種フロン類充塡回収 業者	住 所	F			
	氏名·名称				
	電話			登録番号	
充塡作業者又は立会者 (冷媒フロン類取扱技術者等)	氏名			資格者番号	

機器の管理者の皆様へ

※この「充塡証明書」は、算定漏えい量の計算に必要な書類となりますので、保存しておいてください。

フロン類回収証明書

証明書No.

				証明書No.	
交付年月日	年	月	В		
回収した年月日	年	月	В		
回収したフロン類の 種類・量	種類(R番号)	R-		量(kg)	
整備を発注した管理者 (機器の所有者等)	住 所	〒			
	氏名·名称				
管理担当者	住 所	₹			
	氏名			部署名	
	電話			e-mail	
回収した機器の所在	住 所	〒			
	施設の名称 (建物名等)				
機器の特定情報	管理番号				
	型番			製品番号	
第一種フロン類充塡回収 業者	住 所	〒			
	氏名·名称				
	電話			登録番号	
回収作業者又は立会者 (冷媒フロン類取扱技術者等)	氏名			資格者番号	

機器の管理者の皆様へ

※この「回収証明書」は、算定漏えい量の計算に必要な書類となりますので、保存しておいてください。

(4)第一種フロン類充塡回収業者記録様式の例

整備時

冷媒の種	類[CFC H	HCFC HF	C]																			
No.	管理番号	年月日	充填① 回収② 処理③ 自ら再生 充塡④	設置時①整備時②	第一種 [‡] (充塡	寺定製品 ・回収5	品の所在 場所)	充填・回収. 発注者 処理/処理 再生・省令4 簡易再生フ 先)	∄先(破壊・ 49条業者、	第一種特整位			Ť	≿塡・回収	. 台数/1	里		処理量				備考
					建物名		住所	氏名·名称	住所	氏名·名称	住所		<u>'コン</u>	冷凍		合		破壊	再生	自ら再生	省令49条	
					足物也	県名		24 44	上//	2011 1111	1277	台	量(kg)	台	量(kg)	台	量(kg)	kg	kg	kg	kg	

<u>冷媒の種</u>	镇(CFC HO	CFC HFC]																				
No.	管理番号	年月日	回収① 処理② 自ら再生 充塡③		寺定製品 回収場所	品の所在 所)	回収/廃棄 者 処理/処理 再生・省令4 簡易再生フ	!先(破壊・ 19条業者・	第一種特 引渡受				回収台	数/量					処理量	ŧ		保管	備考
				建物名		住所	氏名·名称	住所	氏名·名称	住所	エア			冷蔵		計	破壊	再生	自ら再生	省令49条	自ら再生充塡	kg	
				Æ 10 · L	県名		20.11 .11.11.	12771	20.11	12771	台	量(kg)	台	量(kg)	台	量(kg)	kg	kg	kg	kg	kg	1,0	
													•				·						

(5) 点検整備記録簿の例((一社)日本冷凍空調設備工業連合会)

	冷媒	漏え	い点	倹·整(備記録	簿	2011	年 11	月 11	日 ~	2018	年	4 月 3	3	日		Ĩ	理番号	RO	GN-	6GMT-8Y)	KA 補	足事項
管機 理器	氏名	3·名称	(株)	環境食品	1								設備製	造者	í	0	∞)冷凍機	(株)				
者の	住	E 所	〒123	3-4567 (O県OC	O市OO	3-4-5		系統名	A	1-1		設置年	月日	3	西暦	20	11 全	F 11	月	11 日		
所機	施設	设名称	スー	パー環場	t OOR	5			TEL	01-2	34-5678			分	競	コンデン	シングユニ	ット(シャーナー	x-冷康家)	型:	at Asc	023D	
整在の	住	E 所	〒32	1-9876 (O県O	0市00	9-87		TEL	01-2	22-3333	ı	使用機器	1	4番		ED02	24-2007	,	用	念 冷凍・	冷蔵用	
運輸	云管理	責任者	環均	t 太郎					TEL	01-2	22-3333	╗		Œ	縮機	の電影	助機定	格出力	(kW)		8.5		
者点	冷湖	空調	设備(排)	〒222-0	001 OC	I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	†OO12∙	-32	TEL	023-4	44-5555	5	1A 44 E 4	, I	合計3	充てん	/量 合	计回収值	副合計排	出量	CO2	>	
名検 住等	Α	BC設化	農(物)	₹233-0	011 OC	0県00市	†OO23	21	TEL	024-6	66-222	1	冷媒量(kg	⁽²⁾	75	5.00		61.00	14.0	00	29.26	30	
所意									TEL			╗	使用冷媒		R4	410A	1	初期総ま	充填量(I	(g)	25.0	0	
+	要冷媒	t on	R11	R12	R32	R134a	R22	R123	R245fa	R502	R404A	R4	07A R407	_	R410	A R	410B	R152a			507A		
	GWP値		4750	10900	675	1430	1810	77	1030	4660	3920	2	110 177	0	2090	0 2	2230	124	2310		3990	$\overline{}$	
				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	充填	量(kg)						Ť		Т					1				
	業	点	検·整備	区分		回収戻	回収量	点	食内容	点検			漏えい・故	條	理の「	内容		·修理·		術者	技術者	修理困難	修理
牛	月日					し充填 量(kg)	(kg)			結果	障の原図	N	障箘所				収・力	C填業者	143 15	名	No.	理由	予定日
		出荷時	初期充填	i II	20.00																		
2014/	/11/11	設置時	追加充填	T	5.00																		
2014/	/11/11	設置時	点検					システム調えい	試験(気密試	験) なし		П		П			冷凍空	E調設備	(株) 佐藤	太郎	1-11-1-0001000		
2015	/7/10	呼出点	検					i	接法	あり	振動·共	振	フレア離手部	その)他(未	実施)	冷凍空	2調設備	(株) 佐藤	自太都	1-11-1-0001000		
2015	/7/11	漏えい	修理		25.00	19.50	19.50	ii.	接法	なし		┪		増し	締め		冷凍空	E調設備	(株) 佐藤	九郎	1-11-1-0001000		
2015	/11/1	定期点	検					i i	接法	なし		\neg					冷凍空	E調設備	(株) 佐藤	太郎	1-11-1-0001000		
2016/	/10/25	定期点	検					To the second	接法	光検あり		┪					冷凍空	2調設備	(株) 佐藤	私都	1-11-1-0001000		
2016/	/10/26	漏えい	修理		25.00	21.00	21.00	ĬĠ.	接法	あり	経年腐1	ŧ	ねじ部	部品多	交換 その	他(キジ)	冷凍空	E調設備	(株) 田中	次郎	1-11-1-0001012		
2017	/3/14	呼出点	検				20.50	Ü	接法	あり	養養にする。 電影	¢in	溶接部	溶接	安補修		冷凍空	E調設備	(株) 田中	次郎	1-11-1-0001012		\vdash
2017	/3/15	整備(析	修理)後点	検	25.00			システム漏えい	試験(気密試	験) なし							冷凍空	Z調設備	(株) 田中	次郎	1-11-1-0001012		\vdash
2017/	/10/20	定期点	検					Til I	接法	なし		1					AB	C設備的	ф	主郎	1-14-1-0123000		\vdash
2018	8/4/3	譲渡																					\vdash
												\dashv							\neg				\vdash
												\dashv							\neg				\vdash
												\dashv							\neg				\vdash
												+							\top				+
												\dashv							-				+
												\dashv							-				\vdash
1	#+				75.00	40.50	61.00					+							$\overline{}$				\vdash

出典 一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会

(6)電子ログブック((一財)日本冷媒・環境保全機構)

*が付いる	城・回収作業 ている項目は必	t、第 す人:	ー種フロン類充坂回収業の カしてくたさい。)知見を有す	る資格者本人		はその立	会いが必					機器管			
施設所有者*	● 新規登録 ○ 履歴から ○ 事業者コ	k 選択 iードカ		事業者コード	912 j 32.1	表(管理者登録)	管理者(本社)名-住	· 等 》	ます。また代数 マ 〒 住所1 住所2			グすると、2	表に業者登	窓続情報が 値	書動記入され	.
施設名称*				系統名			設備製	造者*	~				~			
施設住所*	〒 - 住所1	~	住所検索	主所2			設置年	別 分類*		v	_ ~		7			
代表電話	127711			±///2			-	用途*				<u> </u>	製造番号	-*		
機器管理 従事者*				同左電	£		使用 機器	建式					圧縮機のの定格出	D原動機		
E-mail*						(確認用)		使用 冷媒*			~		出荷時() 充塡量 (
2. 漏洩点検· 作業年月日*																
2015 🗸 - 2	V -26 ∨	-	設置時追加充塡量、	/	~ ·		量 kg	3	ł kg∗	量kg						
漏洩-故障箇門		1.	故障原因		修理内	to to										
						11			直ち	こ修理団	難な場	合はその	理由	修理予:		
備考						8			直匀	こ修理困	難な場	合はその	理由	修理予?	铝	
か学等を出るよ				06-t-4th		8			直为	こ修理科			理由			
作業諸負者社	名		~	所在地		£			直匀	こ修理困		合はその	理由		格者証	
作業諸負者社	名		登録都道府 県	所在地 E-mail		er er		代表電		二修理困			理由			
		相違	登録都道府県				業請負者	代表電	est.	工修理			理由 →	資		
登録番号	表の内容に		登録都道府県	E-mail				責任者確	話		作業也	2当者*	⇒ _	資	格者証	
登録番号 実施作業は2	表の内容に	Я.	登録都道府県 5りません。 …確認画面を表示すると自動	E-mail	収量 の差です		充塡量と	責任者確	話	†で、「合計	作業也	2当者*	⇒ tt \(\lambda_{\beta} \)	資	格者証	02トン
登録番号 実施作業は23. 冷媒の充足	表の内容に	Я.	登録都道府県 5りません。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	E-mail 計算されます 量」と「合計回	収量 の差です	作 {3	充塡量と	責任者確	話記念:	†で、「合計	作業也	2 当者*	⇒ tt \(\lambda_{\beta} \)	資	格者証	02トン
登録番号 実施作業は23. 冷媒の充足	表の内容で 塡、回収状)	兄 (参	登録都道府県 5りません。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	E-mail 計算されます 重力と「合計位 初別総名・	画収量」の差です 減量 kg		明充城重と記 【 量 kg	責任者 证	話 記述記》: 合計回収:	+で、「合計 星 k g	作業担	2当者* には含みま 合計排	⇒ せん。 出版 kg	管理	格者証 排出量0	
受録番号 実施作業は2 3. 冷媒の充り 充塡冷媒 4. 点検・整備	表の内容で 塡、回収状)	兄 (多 又履記	登録都道府県 5リません。 …確認画面を表示すると自動 「合計州出金」は「合計充均 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	E-mail 記計算されます 全別形名を 一字が自動転記 の収量 オ別なる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	M収集Jの差です M 集量 kg Beathagt。但し		明充城重と記 【 量 kg	責任者 证	話 完成堂の合言 合計回収:	+で、「合計 星 k g	作業担	2当者* には含みま 合計排	⇒ せん。 出版 kg	管理	格者証 排出量0	

出典 一般財団法人日本冷媒・環境保全機構

(7)(一財)日本冷媒・環境保全機構の情報処理センターの利用方法

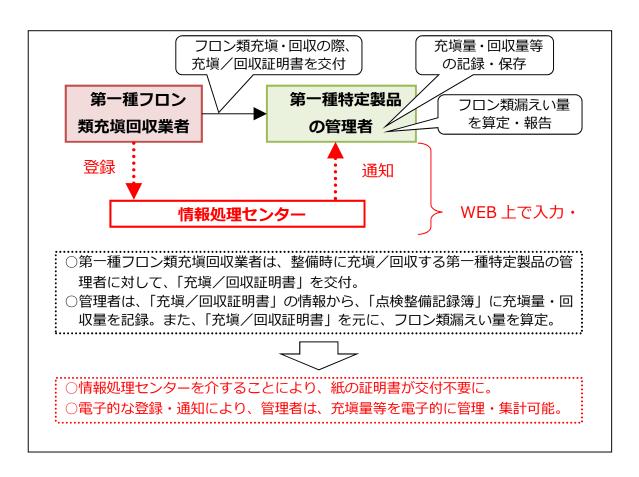
一般財団法人日本冷媒・環境保全機構(JRECO)は、平成27年1月27日、フロン排出抑制法に基づく情報処理センターの指定を受け、Webサーバ上に冷媒管理システム(https://www.ireco.jp)を公表いたしました。

本システムを利用することにより、フロン排出抑制法に基づいた情報処理センター機能にアクセスすることができます。なお、本稼働は平成27年4月1日となります。

①IRECO 情報処理センターを利用することでできること

第一種フロン類充填回収業者は、整備時に充填量・回収量等を記載した充填証明書・回収証明書を管理者に対して交付することになっています。 第一種特定製品の管理者は、管理する第一種特定製品へのフロン類の充填量及び回収量が記載された充填証明書、回収証明書を用いて、一定量以上のフロン類の漏えいを生じさせた場合、毎年度、その漏えい量を国に対して報告する必要があります。

JRECO 情報処理センターを利用することにより、本来紙での交付が必要な充填証明書・回収証明書の、電子的なやりとり(登録・通知)が可能となります。これにより、充填証明書・回収証明書の交付先である管理者は、データの電子的な管理・集計が可能となります。



②利用方法

JRECO 情報処理センターを介した充塡量・回収量等の情報の登録・通知は、以下のような流れになります。なお、登録された情報は、JRECO 情報処理センターが安全に記録・保存します。

	第一種フロン類充塡回収業者	第一種特定製品の管理者
ステップ1	・冷媒管理システムへ、会社情報	・冷媒管理システムへ、会社情報等を登録する。(無
	等を登録する。(無料)	料)
ステップ2	・充塡量・回収量等を登録する。	
	(有料:100円+税/台※)	
ステップ3		・充塡量・回収量等が通知される。
		・記録・保存、算定漏えい量計算に活用できる CSV
		データがダウンロード可能。(無料)

^{*}料金については、平成27年4月1日時点

【使用環境】

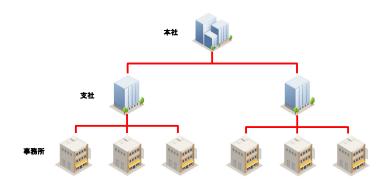
インターネットに接続されたブラウザーを持つパソコン、タブレットなど。(特別なソフトウエアは不要です。)

<関連機能>

①本社・支社・事業所間のデータの連係

事業所、支社、本社などをシステムで紐付けを行った場合は情報の連携ができます。すなわち、大企業など多くのの事業所、支社を抱えている場合、管理者(本社)で集約することができます。(無料)

算定漏えい量集計と本支店間のデータ連携

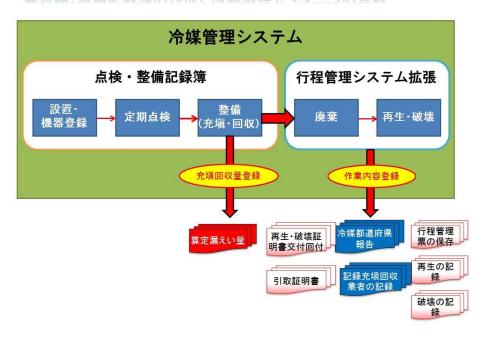


②ログブック管理機能(法律に基づく情報処理センター業務外のサービス)

- 1)第一種特定製品の管理者は、点検及び整備の記録を作成する必要があります。冷媒管理システムの一機能である、電子的な点検整備の記録作成・保存を行うことで、機器廃棄まで、記録の管理保存を電子的に行うことができます。(有料)
- 2) 第一種フロン類充塡回収業者は、点検整備の記録として冷媒の充塡量、回収量をこのログブックに記入すること(有料※)により、情報処理センターへ充塡量・回収量の登録を行ったとみなすことができます。 ※平成27年4月1日までは無料。

3) 管理者の算定漏えい量報告の基となるデータは情報処理センターの法定機能と同様に、CSV データとしてダウンロードできます。また、JRECO 情報処理センターに登録された管理者情報との合算結果の出力が可能です。(無料)

■点検・整備記録簿の作成と情報処理センターへの登録



③行程管理システム(法律に基づく情報処理センター業務外のサービス)

機器廃棄時には、廃棄等実施者として、フロン類を第一種フロン類充塡回収業者に引き渡す必要があります。また、この際、回収依頼書の交付、引取証明書の受理・保存等、書面の交付や保存に関する義務が生じます。行程管理システムでは、この書面のやりとりを、電子的に行うことができます。

- 1)電子的な行程管理システムを廃棄等実施者、取次者(2社まで)、第一種フロン類充塡回収業者、フロン類破壊業者、第一種フロン類再生業者、施行規則第49条第1号業者の間を電子的な帳票として、発行・交付・回付ができます。(有料※)
 - ※平成27年4月1日までは無料。
- 2) 第一種フロン類充填回収業者が整備時に点検整備記録簿(以下:ログブック)を使用した場合、回収量がある場合は電子的行程管理システムへ連動され、第一種フロン類充填回収業者のデータベースへ入力され、都道府県報告、記録の元データとなります。また、充填量がある場合も同様に、充填回収業者のデータベースへ入力されます。(無料)
- 3) 第一種フロン類充塡回収業者が行う都道府県報告のための算出と報告書作成ができます。(無料)

(8) 行程管理票の例((一財)日本冷媒・環境保全機構)

フロン排出抑制法



行程管理票

推奨版

※この行程管理票は、「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」(フロン排出抑制法)に 基づき第一種特定製品の廃棄等を行う場合に使用します。

・第一種特定製品の廃棄等を行う場合 (当該処理等を取次者に委託する場合を含む) に使用します 廃棄等実施者はこの書面を3年間保存します。

○ (記入者) 取次者: 委託確認書 兼 委託確認書 (写)

・取次者が、フロン類の引き渡しを充塡回収業者に依頼する場合に、委託確認書として使用します。 取次者はこの書面を3年間保存します。

E (記入者) 充填回収業者: 委託確認書 兼 引取証明書

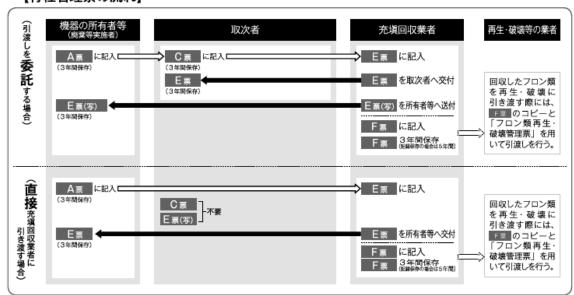
・フロン類の回収を依頼された充塡回収業者が、フロン類の回収後に引取証明書として使用します。 充塡回収業者はこの書面を廃棄等実施者及び最終の取次者に交付します。廃棄等実施者及び 最終の取次者は、この書面を3年間保存します。

F = (記入者) 充塡回収業者: 引取証明書 (写)

・充塡回収業者は、この書面を3年間保存します。また、再生・破壊処理に引き渡す場合は、別票(フロン類再生・破壊依頼票)を使用し、再生証明書・破壊証明書の交付を受けてください。

※ B 票、D 票は使用しないため入っていません。

【行程管理票の流れ】



発行元: 一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構(JRECO)

建物用途別冷凍・空調機器 (フロン類使用機器) の設置場所

行程管理票では、機器の所有者が記入する 『廃棄する機器の種類及び台数』 欄などにエアコンディショナーと冷凍・冷蔵機器 を区分けして記載する必要があります。 エアコンディショナーとは人を冷暖房する機器、冷凍・冷蔵機器とは物を冷凍冷蔵する機器のことです。 一般的な目安として、下記の表を参考にしてください。

設置	場所	機器区分	機器種類の例
			ビル用マルチエアコン(パッケージエアコン)
			ターボ冷凍機
		エアコンディショナー	スクリュー冷凍機
	全体		チラー
3 10 医 微性			自動販売機
スーパー、百貨店、 コンビニエンスストア、		冷凍冷蔵機器	冷水機(ブレッシャー型)
オフィスビル、ホール、			製氷機 など
公会堂 など			ショーケース
	食品売り場	冷凍冷蔵機器	酒類・飲料用ショーケース
			業務用冷蔵庫 など
	バックヤード	冷凍冷蔵機器	プレハブ冷蔵庫(冷凍冷蔵ユニット)など
	生花売り場	冷凍冷蔵機器	フラワーショーケース など
		エアコンディショナー	店舗用パッケージエアコン
			自動販売機
			業務用冷蔵庫
			酒類・飲料用ショーケース
レストラン、飲食店、 各種小売店 など	魚屋、肉屋、果物屋、 食料品、薬局、花屋	A VIETA MERINE DE	すしネタケース
無権心の間 まこ	具行曲、采用、16座	冷凍冷蔵機器	活魚水槽
			製氷機、卓上型冷水機
			アイスクリーマー
			ビールサーバー など
		エアコンディショナー	設備用パッケージエアコン
		14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 1	ターボ冷凍機
		冷凍冷蔵機器または エアコンディショナー	スクリュー冷凍機
工場など	工場、倉庫	-,-,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	チラー
工機会に	工機、肩件		スポットクーラー
		エアコンディショナー	クリーンルーム用パッケージエアコン
			業務用除湿機
		冷凍冷蔵機器	研究用特殊機器(恒温恒湿器、冷熱衝撃装置 など)
		エアコンディショナー	パッケージエアコン(GHP 含む)
		-, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -	チラー
			業務用冷凍冷蔵庫
学校など	学校、病院		自動販売機
		冷凍冷蔵機器	冷水機
			製氷機
			病院用特殊機器(検査器、血液保存庫 など)
	地下鉄構内	エアコンディショナー	空調機器(ターボ冷凍機など)
	列車	エアコンディショナー	列車空調機 など
	輸送	冷凍冷藏機器	冷凍車 など
その他	冷凍・冷蔵倉庫	冷凍冷蔵機器	冷凍倉庫用空調機(スクリュー冷凍機など)
	船舶	エアコンディショナー	船舶用エアコン
		冷凍冷蔵機器	冷凍庫(スクリュー冷凍機など)
	ビニールハウス	冷凍冷蔵機器	ハウス用空調機(GHP)など

代表的な冷媒フロン類の種類と地球温暖化係数 (GWP)

IPCC 4次レポートより

分 類			CFC			НС	FC			HF	-C		
冷媒種類	R-11	R-12	R-114	R-500	R-502	R-22	R-123	R-32	R-134a	R-404A	R-407C	R-410A	R-507A
地球温暖化係数	4,750	10,900	10,000	8,080	4,660	1,810	77	675	1,430	3,920	1,770	2,090	3,990

[※]地球温暖化係数とは温室効果のあるガスを、CO₂の地球温暖化係数を1として、個々の温室効果影響度を表した数値。フロン類には、数 100 倍から数 1.000 倍となるものが多い。

【記入例】

フロン排出抑制法対応 推奨版

※赤い字の項目は必ず記載してください。記載がないとフロン排出抑制法に適合した書面になりません。

廃棄する機器の所有者等

➡△票に記入

- ・廃棄する機器の所有者等:全て
- 取次者:氏名又は名称、住所、連絡先

⇒C票に記入

- ・取次者 担当者の部署名、氏名、フロン類の 引渡し先にレ点、回付の年月日
- 第一種フロン類充塡回収業者 登録番号、登録都道府県、氏名又は名称、 住所, 連絡先

第一種フロン類充塡回収業者 (紫色の字)

⇒F層に記入

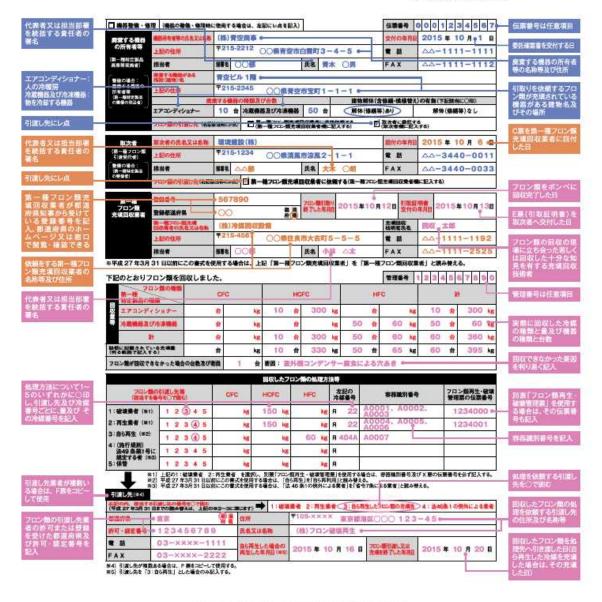
第一種フロン類充塡回収業者

担当者の部署名、氏名、フロン類引き取り終了 した年月日、引取証明書交付の年月日、充塡 回収技術者氏名

・回収量等:該当項目全て

➡F悪に記入

- · 処理方法等: 該当項目全て · 引 渡 し 先: 該当項目全て



発行元: 一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構(JRECO)

Α票

回収依頼書(控)兼 委託確認書

機器の所有者等が保存

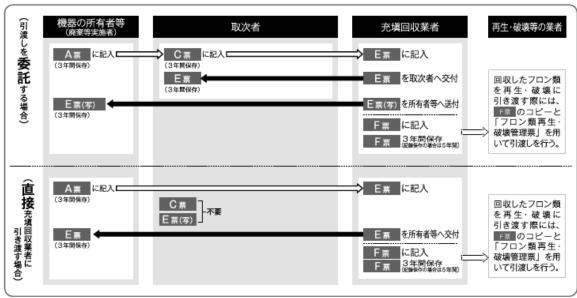
推奨版

□ 機器整備・修	理(機器の整備・修理時に	使用する場	給は、左記にレ点を記入)			伝票番号				
廃棄する機器	機器所有者等の氏名又は名称					交付の年月日		年	月	日
の所有者等	上記の住所	₹				電話				
(第一種特定製品 廃棄等実施者)	担当者	部署名		氏名		FAX				
整備の場合:	廃棄する機器がある 施設(建物)名									
整備する機器の 所有者等	上記の住所	₹								
(第一種特定製品 の整備の発注者)	廃3	実する機器(の種類及び台数		建物解体(含	修繕・模様替え)の有無(*	下記該当	に(用)	
	エアコンディショナー	台	冷蔵機器及び冷凍機器		台 解体(修繕等)あり	解体	*(修繕	等)なし	
	フロン類の引渡し先(右記)	核当枠にレ点)	□ 第一種フロン類充塡II 第一種フロン類充塡I	回収集者に 回収業者(直接依頼する 関に記入する)	取次者に委託す 取次者機に記入	る (する)			
取次者	取次者の氏名又は名称					回付の年月日		年	月	日
(第一種フロン類 引波受託者)	上記の住所	₹				電話				
整備の場合: (第一種特定製品	担当者	部署名		氏名		FAX				
の整備者)	フロン類の引渡し先(右配設	(当枠にレ点)	□ 第一種フロン類充塡回	収業者	こ依頼する(第一種フロン類	充填回収集者機	に記入する	i)		
第一種	登録番号			フロン競引	(取) 年 月	。 引取証	明書	ź		_
フロン類 充塡回収業者	登録都道府県		都通府県	終了した	年月	日交付の		4	月	日
	第一種フロン類充填 回収集者の氏名又は名称					充城回収 技術者氏名				
	上記の住所	₹				電話				
	担当者	部署名		氏名		FAX				

※平成27年3月31日以前にこの書式を使用する場合は、上記「第一種フロン類充塡回収業者」を「第一種フロン類回収業者」と読み替える。

廃棄する機器の所有者等(以下、機器の所有者等)の注意事項

- ①フロン類の回収依頼は、できるだけ、第一種フロン類充塡回収業者(以下、充塡回収業者)へ直接依頼してください。②充塡回収業者へ直接依頼する場合は以下の通りです。
- ・A票の機器の所有者等機と充塡回収業者機に記入し、A票を保存(3年間)し、E票とF票を充塡回収業者へ交付します(この場合、C票お よび E 票 (写) は不要)。
- フロン類の回収は、回収場所を所管する都道府県知事に登録された充塡回収業者に依頼し、必ず登録番号を確認してください。
- ③廃棄する機器の種類欄には、エアコンディショナーと冷凍・冷蔵機器を区分けして記載する必要があります。エアコンディショナーとは人を冷暖房する機器、冷凍・冷蔵機器とは物を冷凍・冷蔵する機器のことです。一般的な目安として、表紙裏の表を参照してください。
 ④取次者に委託する場合は、機器の所有者等欄と取次者欄に記入し、A票を保存(3年間)し、C票・E票・E票(写)・F票を取次者へ交付します。
 ⑤ A票を交付してから30日(建物の全部または一部解体を伴う場合は90日)を経過しても、E票またはE票(写)が回付されない場合は、回収場 所の都道府県知事へ報告する必要があります。
- ⑥この行程管理票は、複写式であるため、できるだけ強く記入してください。



発行元: 一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構(JRECO)

C票

委託確認書兼 委託確認書(写)

取次者が保存

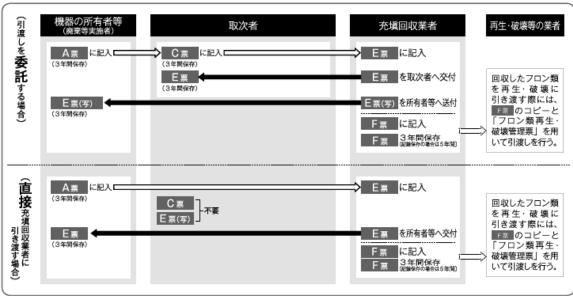
推奨版

			,,,,	~ , , , , ,						
□ 機器整備・修	理(機器の整備・修理時に	(使用する4	場合は、左記にレ点を記入)			伝票番号				
廃棄する機器	機器所有者等の氏名又は名称					交付の年月日		年	月	日
の所有者等	上記の住所	₹				電話				
(第一種特定製品 廃棄等実施者)	担当者	部署名		氏名		FAX				
整備の場合:	廃棄する機器がある 施設(建物)名									
整備する機器の 所有者等 (第一種特定製品	上記の住所	₹								
(第一種特定製品 の整備の発注者)	廃3	棄する機器	の種類及び台数		建物解体(含	修繕・模様替え)の有無(下	記該当に	(印)	
[]	エアコンディショナー	台	冷蔵機器及び冷凍機器		台 解体(修繕等)	あり	解体	(修繕等)なし	
	フロン類の引渡し先(右記	きょうない とうない きょうしょう きょうしょう はいしょう しゅうしゅう しゅう	□ 第一種フロン類充塡II (第一種フロン類充塡II	収集者に 収集者権	直接依頼する □(阪次者に委託する 取次者側に記入	る する)			
取次者	取次者の氏名又は名称					回付の年月日		年	月	日
(第一種フロン類 引波受託者)	上記の住所	₹				電話				
整備の場合: (第一種特定製品	担当者	部署名		氏名		FAX				
の整備者)	フロン類の引渡し先(右記)	(当枠にレ点)	□ 第一種フロン類充塡回	収集者に	こ依頼する(第一種フロン類	充填回収業者機	に記入する)		
第一種	登録番号			フロン器引	1100	_ 引取証	明書		_	
フロン類 充塡回収業者	登録都道府県		都通府県	終了した年		日交付の		年	月	日
	第一種フロン類充填 回収集者の氏名又は名称					充城回収 技術者氏名				
	上記の住所	₹				電話				
	担当者	部署名		氏名		FAX				

※平成 27 年3月 31 日以前にこの書式を使用する場合は、上記「第一種フロン類充塡回収業者」を「第一種フロン類回収業者」と読み替える。

取次者の注意事項

- ①フロン類の回収を取り次ぐ(委託された)者は、フロン類の回収を第一種フロン類充填回収業者(以下、充填回収業者)へ依頼する場合、この C 票の取次者欄と充填回収業者欄に必要事項を記入し、C 票は取次者の控えとして保存(3年間)します。E 票とF 票を充填回収業者に回付します。
- ②フロン類の回収は、回収場所を所管する都道府県知事に登録された充塡回収業者に依頼し、必ず登録番号を確認してください。



発行元: 一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構(JRECO)

委託確認書 兼 引取証明書 機器の所有者等および取次者が保存 E票 推奨版 □ 機器整備・修理 (機器の整備・修理時に使用する場合は、左記にレ点を記入) 伝票番号 機器所有者等の氏名又は名称 交付の年月日 年 月 日 廃棄する機器 の所有者等 上記の住所 電話 (第一種特定製品 廃棄等実施者) FAX 部署名 氏名 廃棄する機器がある 施設(建物)名 整備の場合: 整備する機器の 所有者等 (第一種特定製品 の整備の発注者) 上記の住所 建物解体(含修繕・模様替え)の有無(下記該当に○印) 廃棄する機器の種類及び台数 冷蔵機器及び冷凍機器 解体(修繕等)あり エアコンディショナー 台 台 解体(修繕等)なし ■ 取次者に委託する (取次者欄に記入する) ■ 第一種プロン類充塡回収集者に直接依頼する (第一種プロン類充塡回収業者欄に記入する) フロン類の引渡し先(右記該当枠にレ点) 取次者の氏名又は名称 日 回付の年月日 取次者 玍 月 (第一種フロン類 引渡受託者) 上記の住所 電 話 整備の場合: (第一種特定製品 の整備者) 担当者 部署名 氏名 FAX フロン類の引渡し先(右記該当枠にレ点) 第一種フロン類充塡回収業者に依頼する(第一種フロン類充塡回収業者欄に記入する) 登録番号 第一種 フロン類引取り 終了した年月日 日 引取証明書 交付の年月日 月 玍 玍 月 н フロン類 充塡回収業者 都選府県 登録都道府県 第一種フロン類充塡 回収業者の氏名又は名称 充填回収 技術者氏名 上記の住所 電話 担当者 部署名 氏名 FAX ※平成27年3月31日以前にこの書式を使用する場合は、上記「第一種フロン類充境回収業者」を「第一種フロン類回収業者」と読み替える。 下記のとおりフロン類を回収しました。 管理番号 フロン類の種類 CEC HCEC HEC 計 特定製品の種類 エアコンディショナー 台 kg 台 kg 台 kg 台 kg 冷蔵機器及び冷凍機器 台 kg 台 kg 台 kg 台 kg 台 台 台 台 計 kg kg kg kg 銘板に記載されている充塡量 (判る範囲で記入する) 台 台 台 kg kg kg kg フロン類が回収できなかった場合の台数及び要因 台 要因: (引渡しを 取次者 充填回収業者 再生・破壊等の業者 A票 に記入□ ○ 票 に記入口 ▶ E票 に記入 委託 E票 回収したフロン類 を 再 生・破 壊 に 引き渡す際には、 E 票 を取次者へ交付 する場合 E票(写) ◆ E票(写)を所有者等へ送付 F窓 のコピーと 「フロン類再生・ (3年間保存) F票 に記入 破壊管理票」を用 F票 3年間保存 企業保存の場合は5年間) いて引渡しを行う。 A票 に記入□ ▶ E票 に記入 直 【**接**充塡回収業者に ○票 E票(写) 回収したフロン類 を再生・破壊に 引き渡す際には、 E票 ◀ ■票 を所有者等へ交付 F※ のコピーと 「フロン類再生・ F票 に記入 破壊管理票」を用 F票 3年間保存 (D級銀行の場合は5年間) いて引渡しを行う。

発行元:一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構(JRECO)

E票(写) 引取証明書(写) 機器の所有者等が保存 推奨版 □ 機器整備・修理 (機器の整備・修理時に使用する場合は、左記にレ点を記入) 伝票番号 機器所有者等の氏名又は名称 交付の年月日 年 月 日 廃棄する機器 の所有者等 上記の住所 電話 第一種特定製品 廃棄等実施者) 担当者 部署名 氏名 FAX 廃棄する機器がある 施設(建物)名 整備の場合: 整備する機器の 所有者等 (第一種特定製品 の整備の発注者) 上記の住所 建物解体(含修繕・模様替え)の有無(下記該当に 冷蔵機器及び冷凍機器 エアコンディショナー 台 台 解体(修繕等)あり 解体(修繕等)なし 第一種プロン類充塡回収集者に直接依頼する (第一種プロン類充塡回収集者欄に記入する) □ 取次者に委託する (取次者欄に記入する) フロン類の引渡し先 (右記該当枠にレ点) 日 取次者の氏名又は名称 回付の年月日 年 月 取次者 (第一種フロン類 引波受託者) 上記の住所 電話 整備の場合: (第一種特定製品 の整備者) 担当者 部署名 氏名 FAX ■ 第一種フロン類充塡回収業者に依頼する(第一種フロン類充塡回収業者欄に記入する) フロン類の引渡し先(右記該当枠にレ点) 登録番号 フロン類引取り 終了した年月日 日 引取証明書 交付の年月日 月 玍 年 月 Н フロン類 充塡回収業者 都選府県 登録都道府県 第一種フロン類充塡 回収業者の氏名又は名称 充填回収 技術者氏名 上記の住所 電話 部署名 FAX 担当者 氏名 ※平成 27 年3月 31 日以前にこの書式を使用する場合は、上記「第一種フロン類充境回収業者」を「第一種フロン類回収業者」と読み替える。 下記のとおりフロン類を回収しました。 管理番号 _フロン類の種類 CEC HCEC HFC 計 特定製品の種類 エアコンディショナー 台 台 kg 台 kg 台 kg kg 冷蔵機器及び冷凍機器 台 kg 台 kg 台 kg 台 kg 台 台 計 台 台 kg kg kg kg 銘板に記載されている充塡量 (判る範囲で記入する) 台 台 台 kg kg kg kg フロン類が回収できなかった場合の台数及び要因 台 要因: 機器の所有者等 (廃棄等実施者) (引渡しを 取次者 充填回収業者 再生・破壊等の業者 A票 に記入□ C 票 に記入口 ▶ E票 に記入 委託する場合 回収したフロン類 を再生・破壊に E票 E票 を取次者へ交付 引き渡す際には、 E票(写) ◆ Ε票(写)を所有者等へ送付 F変 のコピーと 「フロン類再生・ F票 に記入 破壊管理票」を用 ■ 日票 3年間保存 応報保存の場合は5年間) いて引渡しを行う。 A票 に記入□ ▶ E票 に記入 直 (3年間保存) 接 ○票 三票(写) 回収したフロン類 を再生・破壊に 売塡回収業者に 引き渡す際には、 F頭 のコピーと 「フロン類再生・ E票 ■票 を所有者等へ交付 F票 に記入 破壊管理票」を用 F票 3年間保存 (記録保存の場合は6年間) いて引渡しを行う。 発行元:一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構(JRECO)

F票

引取証明書(写)

充塡回収業者が保存

									;	推装	羟版											
□ 機器整備・領	多理	(機器	の 3	è備	・修	理時	に使用する	場合は、	左記にレ点を記	记入)					伝票	番号	\Box					
廃棄する機器	機器	活有:	者等0	か氏名	区区	坞称									交付	の年月日			年		月	日
の所有者等	上部	このt	主所				₹								電	話						
(第一種特定製品 廃棄等実施者)	担当	绪					部署名				氏名				FA	x						
整備の場合:	廃弃	する (建2	機器	があ	8																	
整備する機器の 所有者等 (第一種特定製品		このt					₹															\neg
(第一種特定製品 の整備の発注者)						廃	棄する機器	の種類	及び台数				建物	解体	(含修繕・	模様替え)の有	無门	下記談:	単に〇	(印)	
	エア	'コン	ディ	ショ	ナー		1		農器及び冷凍		台			*(修業	籌等)あり				本(修業	善等)	なし	
	フロ	ン類	の引	渡し	先	(右記	該当枠にレ点	0 🗆	第一種プロン類 第一種プロン雰	充壤I 充填	回収集者に直 回収業者側に	接依記入	難する (する)		□ 取次者 □ (取次者	に委託す M側に記力	る (する)					
取次者	取次	で者の	の氏:	名又	はは	各称									回付	の年月日			年		月	日
(第一種フロン類 引波受託者)	上書	このt	主所				₹								æ	話						
整備の場合: (第一種特定製品	担当	绪					部署名				氏名				FA	х						\neg
の整備者)	70	ン類	の引	渡し	先	右記	多当枠にレ点	() 第	一種フロン類	充塡匠	収業者に	友頼 7	する(第一	種フロン	ン類充塡回	1収集者権	似に記.	入する	i)	_	_	\neg
			_	=															_	_	=	믁
第一種 フロン類		番号					_		211	道	フロン類引用終了した年月		ź	Œ	月日	引取証 交付の				年	月	日
充填回収業者		都								県	at 10/0-7/)H			100 100		T-/31					-
	回心	様フ	の氏	名)	.項 又は:	名称									技術	回収 者氏名	L					
	上高	このt	主所				7								電	話	┖					
	担当						部署名				氏名				FA							
※平成 27 年3月								合は、	上記「第一種	[フロ	ン類充塡回	収業	者」を	第一			绪」	と読	み替え	しる。	_	
下記のとおりこ	ノロスロン製			-	(まし	た。								管理	番号		Ш	Ш	Щ	Ш	Щ
第一種特定製品の	-	Mari	= XX				CFC			нс	FC			H	HFC					ā†		
収 エアコンテ		ョナ・	_	Г			台	k	g	台		kg		É	à	kg			台	Т		kg
冷蔵機器及	び冷	東機	*	t			台	k	g	台		kg		ź	is i	kg			台	+		kg
	計			t			台	k	g	台		kg		É	à	kg			台	\top	_	kg
銘板に記載されて (判る範囲で記入	رديم ج م	を増ま	R	t			台		g	台		kg		ź	+	kg	-		台	+	_	kg
フロン類が回収で		アった	· 場合	<u>ද</u> ින	台數	BU!			台 要因:					_	-						_	
THE ME HAVE				4 70	H PA		A-F				E O LI TE +	-										
70	es o a	Code	**	*					国収したノ		類の処理方								7.		175.4	nkist
フロン (該当す							CF	•	HCFC		HFC		記の 媒番号		容器	識別番号	3					·破壊 番号
1:破壞業者(※1	1)	1	2	3	4	5		kg	kg		kg	R										
2: 再生業者(※1		1	2	3	4	5		kg	kg		kg	R							T			
3:自6再生(*2) 4:(施行規則))	1	2	3	4	5		kg	kg		kg	R							\top			
第49条第1号		1	2	3	4	5		kg	kg		kg	R							\top			
5:保管	MR (3)	1	2	3	4	5		kg	kg		kg	R							+			\neg
	*1) .	上記の	D1:	破場	業	£ 2	: 再生業者	を選択	、別票「プロン	類再生	主・破壊管理	票」を	使用する	場合は	、容器識	別番号及	びXI	票の伝	票番号	を必	ず記り	、する。
	**2) ³ **3) ³	平成 2	27 4	F3F	31	日以	前にこの書 前にこの書	式を使用で	する場合は、「自 する場合は、「(が	ゅ再生 施行規	E」を1目5円を 規制)第49条	9円」。 第1-	C駅が替え 号に規定す	いる。 する者」	を「省令7	条による第	者」と	読み	替える。	,		
引渡し先(※4) 右記の内、該当す	·表示196	t. On a	の書	品本	07	囲む			A	MK			a. +>-	F44. * *		n ale im ii	-	u		- Mr. 5-		
(平成 27 年3月 3	1 日ま	の書	4	えに	ĭ.	E EEO	※2~3に 都道		1:破壊	業者	2:再生業	看	3:目6再	生した	フロン類の	の充填先	4:	法46	乗1 0	州外	~£{	業者
都道府県	-						府県	住所	11.4.11.	Ĺ												_
許可・認定番号								氏名又	は名称								_					_
電話									生した場合の た年月日 (※ 5)		年	F) E		ロン類引渡 塡を終了し				年	,	月	日

FAX

**4) 引波し先が複数ある場合は、F票をコピーして使用する。

**5) 引波し先を「3:自ら再生」とした場合のみ配入する。

**2や行って

(9)破壊証明書・再生証明書等の例((一財)日本冷媒・環境保全機構)

フロン排出抑制法

□ フロン類再生・破壊管理票

※このフロン類再生・破壊管理票は「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」(フロン排出抑制法)に基づき、第一種フロン類充塡回収業者(以下、充塡回収業者)が、回収したフロン類を第一種フロン類再生業者(以下、再生業者)またはフロン類破壊業者(以下、破壊業者)に引き渡す際に使用します。

× 無 (記入者) 充塡回収業者: フロン類再生・破壊依頼書

・フロン類を再生あるいは破壊の処理をする場合、充塡回収業者がこの書面にて、再生業者ある いは破壊業者に依頼する場合に使用します。

フ1 = (記入者)破壊業者:破壊証明書

・破壊業者が処理を完了した時点で使用します。破壊業者、充塡回収業者、及び取次者はこの書面を、機器の管理者または廃棄等実施者に回付するとともに、コピーを3年間保存します。

Z2 = (記入者) 再生業者: 再生証明書

・再生業者が処理を完了した時点で使用します。再生業者、充塡回収業者、及び取次者はこの 書面を、機器の管理者または廃棄等実施者に回付するとともに、コピーを3年間保存します。

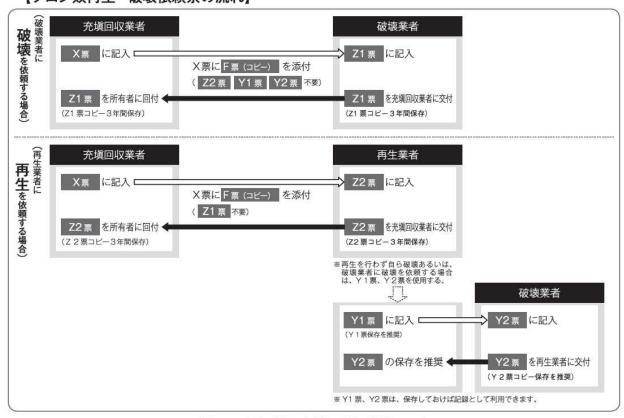
Y1 m (記入者) 再生業者: 再生を行わなかったフロン類の破壊依頼書

・充塡回収業者からフロン類の再生を依頼された再生業者が、フロン類の全部または一部の再生 を行わず、破壊業者に破壊を依頼する場合に使用します。

Y2票 (記入者) 破壊業者: 再生を行わなかったフロン類の破壊依頼受取・処理証明書

・再生業者からフロン類の破壊を依頼された破壊業者が、フロン類の破壊後に処理証明書として 使用します。

【フロン類再生・破壊依頼票の流れ】



【記入例】

回収 → 破壊 の場合

第一種フロン類充塡回収業者

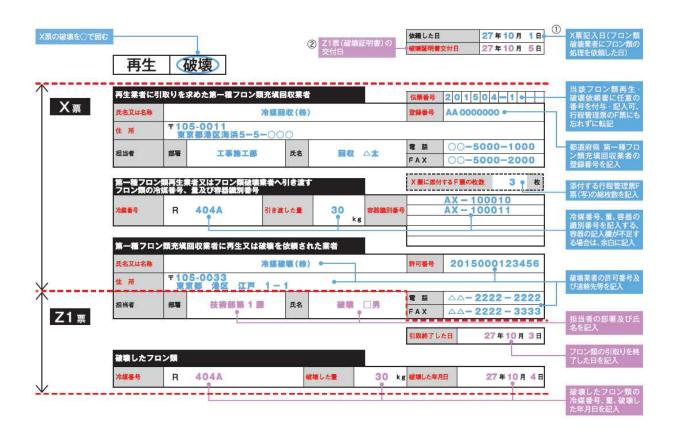
⇒X 票に記入

- ・破壊を○で囲む
- ・フロン類の破壊を依頼した日(①)
- ・引取りを求めた第一種フロン類充塡回収業者欄
- ・フロン類破壊業者へ引き渡すフロン類の冷媒番号、 量及び容器識別番号
- ·X票に添付するF票(写)の枚数
- ・第一種フロン類充塡回収業者に再生又は破壊を依頼 された業者欄

フロン類破壊業者 (紫色の字)

⇒Z1票に記入

- ·破壊証明書(Z1票)交付日(②)
- 担当者の部署名及び氏名
- ・フロン類の引取りを終了した日
- ・破壊したフロン類の冷媒番号、量
- ・破壊した年月日



【記入例】

全てを再生する場合:回収 → 再生

全部または一部の再生を行わない場合:回収 → 再生 → 破壊

第一種フロン類充塡回収業者

⇒X 票に記入

- 再生を○で囲む
- · フロン類の再生を依頼した日(X票交付日 (D)
- ・引取りを求めた第一種フロン類充塡回収 業者欄
- ・第一種フロン類再生業者へ引き渡すフロ ン類の冷媒番号、量及び容器識別番号 ・X票に添付するF票(写)の枚数
- ・第一種フロン類充塡回収業者に再生又は 破壊を依頼された業者欄

第一種フロン類再生業者 (紫色の字)

⇒Z2票に記入

- · 再生証明書(Z2票)交付日(②)
- ・担当者の部署名及び氏名
- ・フロン類の引取りを終了した日
- ・再生したフロン類の冷媒番号、量
- ・再生した年月日 (全部または一部の再生を行わない場合、 上記に加えて下記も記入)

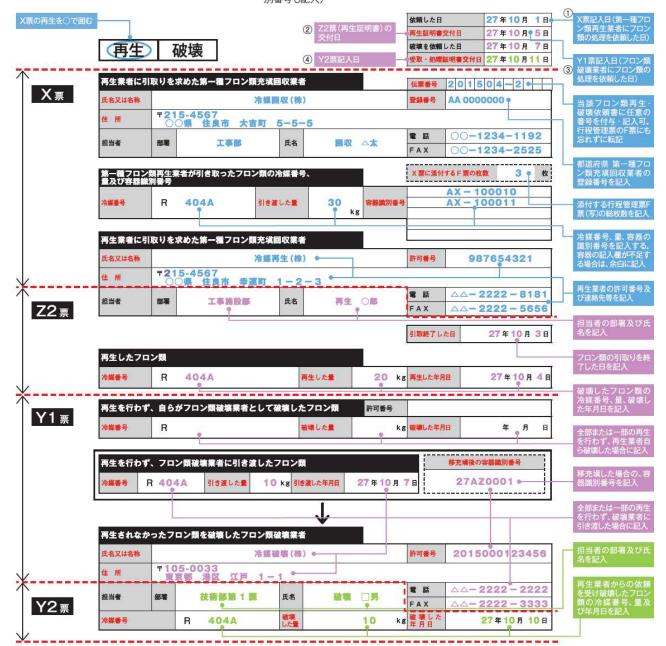
⇒Y1票に記入

- ・自ら破壊した場合は、破壊した量及び年月日
- 他者に破壊を依頼した場合は、依頼の年月 日(③)、引渡しの年月日、量及びフロン破 壊業者欄(移充塡した場合は、その容器識 別番号+シ記入)

フロン類破壊業者

→Y2票に記入

- · Y2票の交付日(4)
- ・フロン類破壊業者担当者の部署及び氏名
- ・破壊したフロン類の冷媒番号、量
- ・破壊した年月日



(充塡回収業者→再生業者·破壊業者)



フロン類再生・破壊依頼書

依頼した日	年	月	Е
			- 57

当てはまるほうを○で囲んでください

再生 破壊

					Ì					
引取りを求め	た第一	種フロン類充塡回収業者				伝票番号				
氏名又は名称						登録番号				
住 所	₹									
40 V/ =k	部署		па			電話				
担当者	司者	8	氏名	5		FAX	7			
# #=->#			I de tetrad			V=1-74		011		
第一種プロン教	見再生美 某番号、	き者又はフロン類破壊業者へ引 量及び容器識別番号	さ渡す		7	X票に添付	するト祟	の枚数	<u></u>	 枚
冷媒番号	R	引き渡	した量	kg	容器識別番号					
2										
第一種フロン	類充塡	回収業者に再生又は破壊を依	対数	に業者	ž					
氏名又は名称						許可番号				
住 所	Ŧ		,	10			655			
担当者	部署		氏名			電話				
但二百	pp-m		八白			FAX				

Z1票

(破壞業者→充塡回収業者→管理者)

破壊証明書

依頼した日	年	月	日
破壞証明書交付日	年	月	日

破壊

引取りを求め	た第一種フロン	類充填回収業者			伝票番号				
氏名又は名称					登録番号				
住 所	Ŧ								
40 W +	40 PM	П.			電話				
担当者	部署	氏名	1		FAX				
フロン類破壊	業者が引き取った	たフロン類の冷媒番号、量	及び容器識別番	号	X票に添付	するF票の	文数		枚
冷媒番号	R	引き渡した量		容器識別番号	7	3 30000 30000 5000 500			
フロン類破壊	業者								
氏名又は名称					許可番号				
住 所	Ŧ				IK .				
担当者	部署	氏名			電話				
担当有	司 者	K.E.	1		FAX				
					引取終了し	た日	年	月	日
破壊したフロ	ン類				Si .				
冷媒番号	R		破壊した量	kε	破壊した年月	日	年	月	日

Z2票

(再生業者→充塡回収業者→管理者)

再生証明書

依頼した日	年	月	日
再生証明書交付日	年	月	日

再生

								r.									
引取りを求	めた第一	種フロン類充	塡回収業:	者						伝票	番号	П	П		П		
氏名又は名称										登録	番号						
住 所	Ŧ									16		101					
担当者	部署	8			氏名					電	話						
	HV-E				20					F A	X						
第一種フロ 量及び容器	ン類再生物	養者が引き取っ	たフロン	類の冷燥	集番号、					Χ票	に添付	する「	票の	枚数			枚
重次し合命			*													V-1/	
冷媒番号	R			引き渡し	ノた 量		kg	容器譜	別番号								
ñ-	3																
第一種フロ	ン類再生	業者					,										
氏名又は名称										許可	番号						
住 所	Ŧ									II:		704					
担当者	部署	ó			氏名					電	話						
	HO-E				20					FA	X						
										引取	終了し	た日			年	月	日
再生したフ	ロン海																
骨王したノ	ロノ規						-						T				
冷媒番号	R				再	生した量			kg	再生	した年月	日			年	月	日
	7775 VI - VI	20/200 S - 27 (5-225)20	WWW.comes.com	en companie	80 48 50	2 2 22											
再生を行わ	ず、自ら	がフロン類破	壊業者と	して破り	表した	フロン類		許可獲	号								
冷媒番号	R				破	壊した量			kg	破壊	した年月	日			年	月	日
再生を行わ	ず、フロ	ン類破壊業者	に引き渡	したフロ	ロン類							移名	达填後	の容器	識別番	号	
冷媒番号	В	引き選	きした量	k	g 引き源	した年月日		年	A	В							1

(再生業者→破壊業者)

日

依頼した日

Y1票

再生を行わなかったフロン類の破壊依頼書

										再生	証明書	交付	日			年	月	日
再生→石	皮壊									破壞	を依頼	した	日			年	月	日
13-1	12.50																	
再生業者に	- 2 (助 () 。	させめた	第一種 7	プロンボ	本場	a iiv ## :	¥			-			-	1 1		7 7	-1	
		上水砂厂	第一性 /	/ H / X	Rプレッス!	34以来	ā!	9		伝票	番号	Н	- 5	1 1	-		35 38	Н
氏名又は名称	*									登録	番号							
住 所	₹																	
+D 7K =#	₩					正女				電	話							
担当者	部署					氏名	S.			FA	Х							
第二種ファ	コン類再生	****	李丽一	t-75	が難の	企能型	=	7	I	V #	に添付	ナス		の 数**	-			枚
景人で容器	は、現代は	未有かっ	I C AX J	/c/L.	/ 知 (ソ) /	77次代世	7,			^ 27	FAC 185 1.7	9 %	示	V)1X W				111
冷媒番号	R				टा क अ	: 1 to E			容器識別番号									
小殊智 芍	_ n				מופור	した量		kg	台台画の音									
-																		
再生業者に	こ引取り	ま求めた	第一種フ	フロン類	充填	回収業	耆											
氏名又は名称	尓									許可	番号							
住 所	Ŧ											1						
		4					Ī			電	話	Ī						
担当者	部署					氏名				FA	10-511							
7	V)						- L3											
										引取	終了し	た日				年	月	日
再生したこ	フロン類								ē.									
冷媒番号	R						再生した量		kε	再生	した年月	IB				年	月	日
						Anna de la companya			The second of the second									_
再生を行れ	うず、目	うかフロ	ン類破壊	業者と	こしても	仮壊 し	たフロン教	<u></u>	許可番号				_					_
冷媒番号	R						破壊した量		kε	破壞	した年月	日				年	月	日
	· · ·					**												_
再生を行れ	うず、フ	コン類破	壊業者に	こ引き派	した	フロン	ĮĮ.					移	充填	後の容	器職	別番	号	
冷媒番号	R		引き渡	した最		k a 21:	き渡した年月日	4	年 月	日								٦H
71386 117	11		31 6 //	O /C A		KB 310	3/IXO/C/11	1	<i>+ n</i>		L							!
							.].											
			A 75 100-6	L. 			V		Í									
第一種フロ	Vo. Vincente	E業者が	り被戮を	と依頼る	nr.	ノロン	貝被琝業者	ā		RESIDE Y	4750BW	_						_
氏名又は名称	东									許可	番号							
住 所	₹																	
担当者	部署					氏名				電	話							
34417	ap·指					24.0				FA	х							
						The second				Mark Committee								

(破壞業者→再生業者)

Y2票

再生を行わなかったフロン類の破壊依頼受取・処理証明書

						依頼した日		年	月	日
	85					再生証明書	を付日	年	月	日
再生→破場	喪					破壊を依頼し	た日	年	月	日
1722 184					82	受取・処理語	证明書交付日	年	月	B
再生業者に引	取りを	求めた第一種フロン類	充填回収集者	ŧ		伝票番号		111		11
氏名又は名称		The same of the sa		***	P-01	登録番号	. el - lo - s	- 1 1 1 1 1 1	26 70	
住 所	Ŧ									
						電話				- 3
担当者	部署		氏名			FAX				
At 15 10 10 10				·	. 8	Lagrange				17.21
第一権プロン 量及び容器機	別書号	業者が引き取ったフロン	類の冷葉番号	•	- 1	X票に添付	するF票の枚数	ex		枚
冷媒番号	B		引き渡した量		容器識別番号					
7 P P P P P	States		***************************************	kg	H					
エルル さんき	W-11-			•						
	取りを	求めた第一種フロン類	尤項凹取某者	#	13					7
氏名又は名称						許可番号				
住 所	Ŧ					A15				
担当者	部署		氏名			電話				
	1,000,000		55.00.000			FAX				
					38	引取終了した	E B	年	月	日
leagues seems	- SU22				(3					- 10
再生したフロ	ン類		· · ·							ï
冷媒番号	R		Ĭ	再生した量	kg	再生した年月	日	年	月	日
					er.					
再生を行わす	、自5	がフロン類破壊業者と	して破壊した	:フロン類	許可番号					9
冷媒番号	R		ā	波壊した量	kg	破壊した年月	8	年	月	日
										1
再生を行わす	、フロ	ン類破壊業者に引き波	したフロン舞				移充塡後の智	字器識別番	号	
冷媒番号	R	引き渡した量	kg 引き	渡した年月日	年 月	B				
, h						i				. <u></u> .
				1						
再生されなか	ったフ	ロン類を破壊したフロ	ン類破壊業者	i						
氏名又は名称				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Ŀ,	許可番号				1
住 所	Ŧ									
17 17						電話				
担当者	部署		氏名			FAX				-
冷媒番号		R	破壊した量		kg	破壊した年月日		年	月	日
			U/C		HILL XXX	+74		2.000		

(10)事前確認書の例((一財)日本冷媒・環境保全機構)

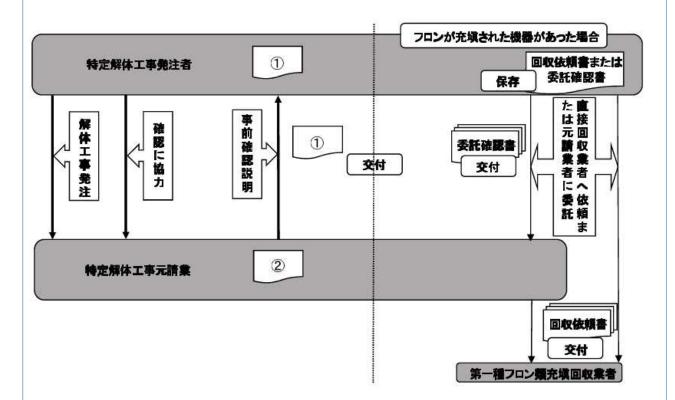
フロン排出抑制法

設置機器事前確認書

(建物解体の際に事前に業務用冷凍・空調機器設置の有無について説明する書面)

この様式は、フロン排出抑制法第42条に規定する特定解体工事の依頼があった場合、それを請け負おうとうする特定解体工事元請業者が、当該工事発注者に「第一種特定製品設置の有無等」を説明するときに使用します。

- ①「フロン排出抑制法に規定する第一種特定製品設置に関する確認結果説明書①」(設置機器事前確認書)
- ②「フロン排出抑制法に規定する第一種特定製品設置に関する確認結果説明書②」(設置機器事前確認書)



- (1)特定解体工事元請業者(元請業者)は、建物解体を請け負おうとする場合、「第一種特定製品の有無」について確認のうえ、 ①を、特定解体工事をしようとする者(発注者)に交付し説明する。
- (2)ただし、「機器が設置されていないこと明らかな場合」は確認・説明する必要はない。 例えば、a)解体対象の建物が「東屋」のような場合
 - b) 発注者から既にフロンを回収した「引取証明書」またはその写しを提示された場合 等である。
- (3)発注者は、解体工事を発注した場合、元請業者より「機器設置の有無」の説明を書面①にて受けるとともに、元請業者が行 う機器設置の有無確認に対して、協力をしなければならない。

「協力」とは、例えば、確認のために建物内に入る許可や図面を提供する等をいう。

(4)発注者は、解体対象建物に「第一種特定製品」があった場合、フロン回収を第一種フロン類充填回収集者に直接依頼するか、 元請業者に委託することが必要。(様式は下記へ)

> ※当該事前確認書は、建設リサイクル法の説明と同時に行う場合の、添付資料④となります。 様式については、「JRECO」のホームページhttp://www.ireco.or.ipからダウンロードできます。

(特定解体工事発注者用)

年 月

日

設置機器事前確認書

(フロン排出抑制法に規定する第・種特定製品設置に関する確認結果説明書①)

(特定解体工事発注者)

書面の交付年月日

氏名又は名称							
<u>住所</u> 〒							
		(特	定解体	工事元請業	者)		
		氏	名又に	は名称			
		住	-				
]	///	'			
		特	定解体	本工事責任者.	氏名:		A
		電	話番号	-;	_	_	
が特定解体工事発注者に交 おける第・種特定製品の設 明します。			を行っ				
distribution of the second	**	,					\neg
特定解体工事の名	杯						
特定解体工事の場	所_						
	Ś	第一種特定製品	品の記	2置の有無	<u> </u>		
□あり)				□なし	<u>, </u>	
「あり」の場合	その種	類と台数	Г	なし」の理由	(該当す	るものに2月1)	
エアコンディショナー	冷蔵	幾器及び冷凍機器	_	対象機器の設 対象機器は廃			\exists
			_	対象機器はフロ 対象機器はフロ			\dashv
台		台				リサイクル法で処理)	
特定工事発注者 ※「あり」の場合は、都道府県知事 充塡回収業者にフロン類回収を依納 ※フロン類回収を委託する場合は、第 を交付する必要があります。 ※本書の詳細調査を必要とする場合 業者・回収関係機関にご相談下さい。 ※表紙の裏側に、設置されている機	の登録を 領する必 別に定め は、第一	受けた第一種フロン類 要があります。 る書面(委託確認書) 種フロン類充塡回収	□ ⑤	その他(具体)	的にその理	由を明記下さい)	
フロン類を	回収せ	ナずに放出すると	:、法	律に基づき	罰せられ	ます。	_ _
(下線の項目は法律・省令で定め	られた記	載項目です。)		<u> </u>			=

(特定解体工事元請業者控)

設置機器事前確認書

(フロン排出抑制法に規定する第一種特定製品設置に関する確認結果説明書②)

					書面の交付年月日	年 年	月	日
(特定解	军体工事発注者)							
氏名又	は名称							
住所	Ŧ							
(特定解体)					(工事元請業者)			
氏				名又は	は名称			
住				訴	 〒			
				-//1	1			
特定解体工事責任者氏名:								印
				話番号		_	_	Π,
								. ~
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律第42条第1項及び特定解体工事元請業者								
が特定解体工事発注者に交付する書面に記載する事項を定める省令第2条の規定により、下記の建築物等における第 ・種特定製品の設置の有無について確認を行った結果について、下記のとおり説								
明しま		3×1110>	灰色の有無に 2	у С ин	11.21.01/CM4.V/C 2	V C THE	J ⊏ 40 9 H	, u
	- 5		Ā	2				
特定解体工事の名称								
17年1:事ジ47年								
特定解体工事の場所								
	第一種特定製品の設置の有無							
	<u>□あり</u>				□なり			
	「あり」の場合その種類と台数				なし」の理由(該当・		Z 印)	
II.	エアコンディショナー		冷蔵機器及び冷凍機器		対象機器の設置は元々 対象機器は廃棄済みで			
					対象機器はフロン回収			
	台		台		家庭用機器のみである(家		にで処理)	
特定工事発注者の皆様へ				_	その他(具体的にその	理由を明記下	さい)	
※ あり の場合は、都道府県知事の登録を受けた第一種フロン類 充壌回収業者にフロン類回収を依頼する必要があります。								
※フロン類回収を委託する場合は、別に定める書面(委託確認書) を交付する必要があります。 ※大事の詳細理などであると、第二年でも経過度								
※本書の詳細調査を必要とする場合は、第一種フロン類充塡回収 業者・回収関係機関にご相談下さい。 ※表紙の裏側に、設置されている機器の詳細を説明しております。								
※弦概//3	をPUに、放直されている機能	話びノお牛利用?	生成物 しくおりよす。					

フロン類を回収せずに放出すると、法律に基づき罰せられます。

(下線の項目は法律・省令で定められた記載項目です。)